農女の友

2巻2号

農女會中央部發行

Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

前内務大臣　水野錬太郎序
前文部大臣　岡田良平序
樞密顧問官　一木喜德郎序
前文部次官　田所美治序
宮内兼内閣兼内務省囑託　國府種德序
内務省囑託　天野藤男著

賜天覽
賜台覽

青年團及處女會

四大特色
材料豐富
文章簡明
統計確實
識見卓越

菊版四五〇頁
箱入美本
定價二圓五十錢
送料十二錢

忽三版

青年團の研究者にして處女會の唱道者として識られたる著者が多年の苦心に成れる著述でありまして青年會處女會の歴史から組織經營の方法實例事業の種類優良團體事蹟など正確なる事實に就き掌に取る如く簡明に叙述してありますので青年會處女會の指導者には此上もない參考書であります。外國の青年會處女會の實例や青年團の新研究などは他の書物に見ることが出來ない文字であります。

東京市本郷元町二ノ六六
發行所　丙辰出版社
振替東京[illegible]

お斷りとお願

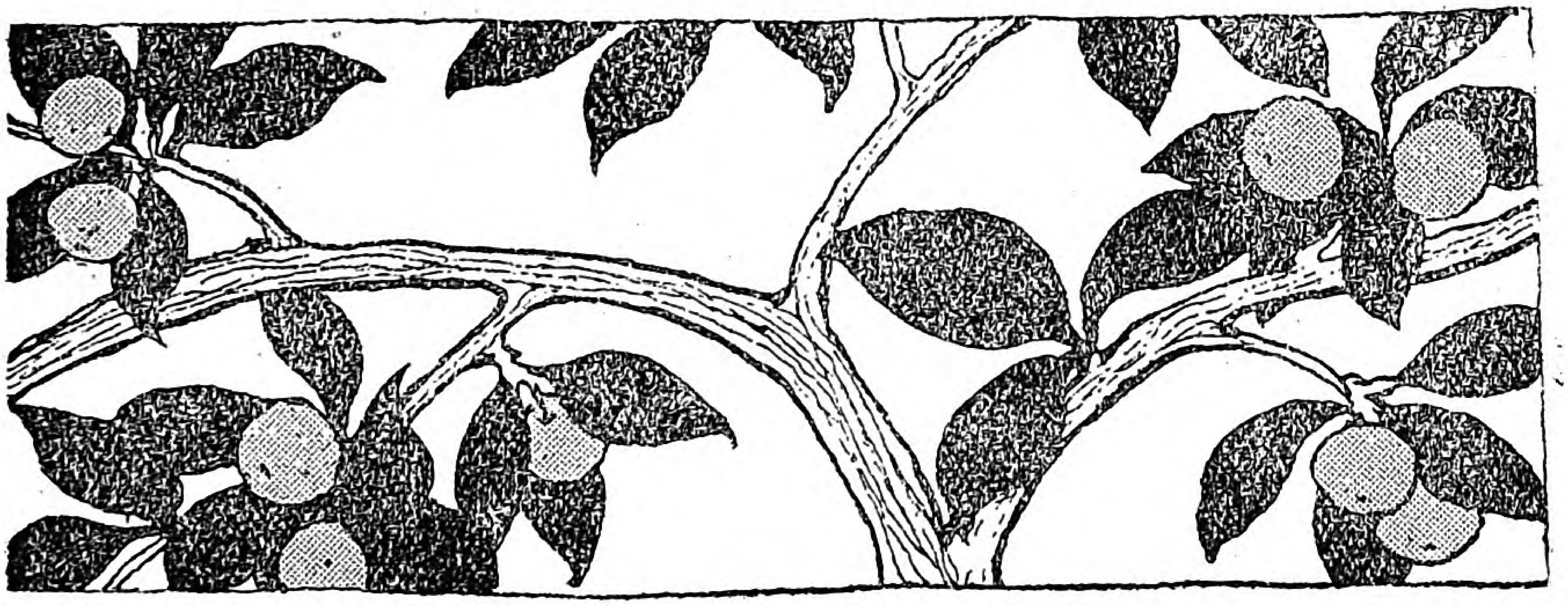
本誌は二月一日に出ますはずでございましたが、主な方が、一月の末にはかに地方へお出かけになりましたので、自然發行が後れまして、お待かねの皆様に何とも申しわけがございません。所が又々今月の末に九州の方へお出かけになる事になりましたので、一同相談の上二月號を休みまして之を三月號と致しました。四月號は三月中頃におもしろくこしらへて出しますから、どうぞ右御承知下さいませ。

大正八年二月紀元節

處女會中央部

處女會がふえましたので、處女の友も大へんふえました。此上は一日も早く中央部が他の仕事に手をつけることの出來るやうに御手傳下さいませ。尚雜誌の中に『連絡の栞』が刷り込んでありますから、御覽下すつて、大ぜい友達を御さそひ下さい。御願ひ致します。わるい風邪がはやります。御用心をなさいまし。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



處女の友

三月號目次　第二卷第三號

題字……跡見花蹊筆

表紙……（麥の中耕）……田代紫光筆

口繪……（地方處女會の活動）

□記事

□今日一日の事……一

□貴婦人の涙……二

□あたりまへのこと……山脇高等女學校長　山脇房子……五

□子守のために……內務省囑託　生江孝之……七

□日本だけにある子守學校……一〇

□留守の妻より戰地の夫へ……內務省囑託　岡田次郎作……一四

□處女會訪問記……一八

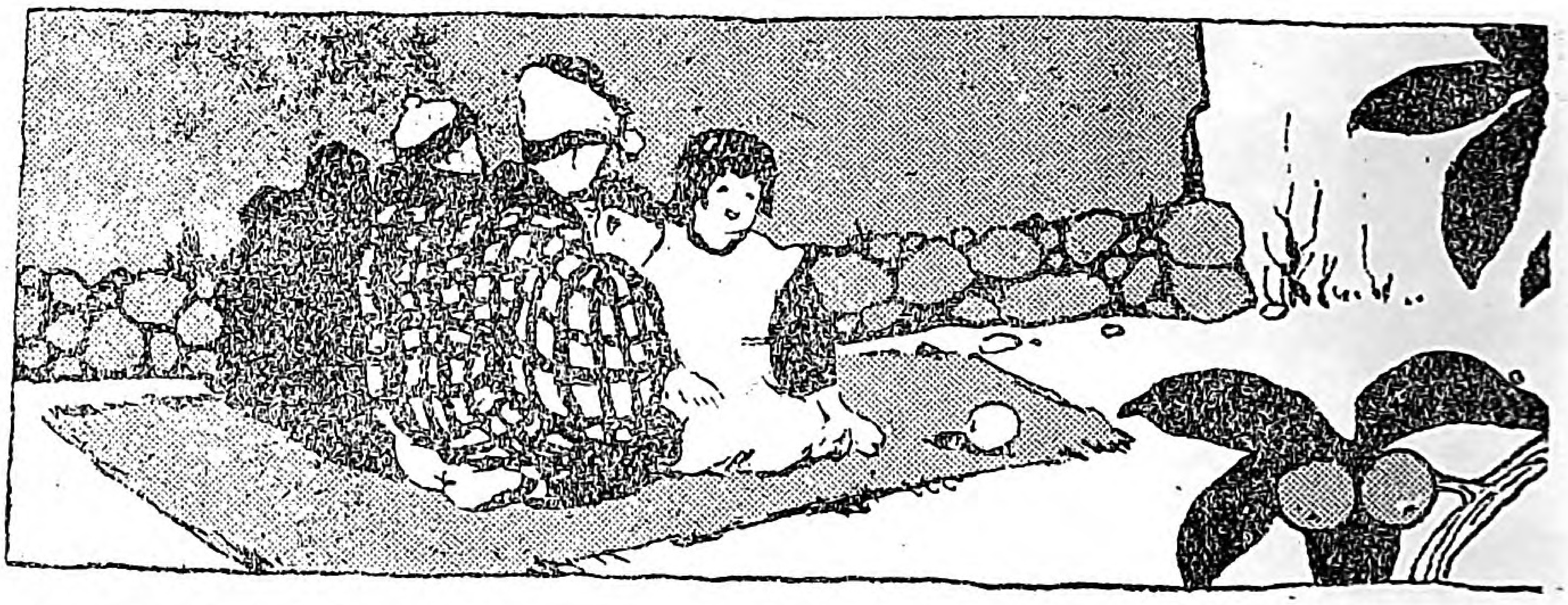
□一生口をきかぬ處女學校……內務省囑託　天野藤男……二三

□模範處女會……二五

□お話の泉……二五

□帝國議會の話……二七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



□孝女白菊物語……二〇
□鹿兒島縣の處女會……二二
□榮養と食糧の話……内務省衛生局……二三
□早起の鐘……二六
□地方改良あほだら經……群馬縣大地主　岡部榮信……二七
□赤ん坊を縛へて負ふ害……中村春吉……二八
□青年會と處女會の合同の敬老會(口繪説明)……四〇
□主婦と娘の虎の巻……四〇
□處女時代の心の持ち方……東京女子醫學專門學校長　吉岡彌生……四一
□花ものかたり……島　鮎川……四四
□御馳走よりも居心地……女子高等學校學監　嘉悅孝子……四六
□日用文字展覽會……四八
□婦人講談　妻返し松……大久保四州……四九
□笑ひばなし……五四
□新語古語問答……五五
□家政心得百箇條……山本瀧之助……五六
□處女新聞(第三號)……五八
□懸賞あてもの……五九
□處女文藝……六〇
□懸賞處女文藝募集……六一
□編輯便り……六二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

町村處女會長各位へ

春寒料峭の候益御清榮の御事と奉抃賀候各位の御熱心なる御聲援に依り本誌は逐月發展發行部數激增いたし候段誠に感謝の辭無之候尚將來一層の援助賜り度く伏して奉願候

扨曩に御送付申上候雜誌に發表致し候中央部會則中重要なる箇所に誤植有之候を發見致し寔に申譯無之候卽ち町村理事は地方處女會長に御願仕るべきの處町村長と相成り居り候依て左に訂正致し候地方處女會長各位には何卒町村理事として本部に對し御援助賜り度伏して奉願候

第九條　役員ハ贊助會員中ヨリ之ヲ選擧若クハ推薦スルモノトシ任期ハ二年トス

郡顧問ハ郡長ニ、町村顧問ハ町村長ニ囑託ス

郡理事ハ郡視學ニ、町村理事ハ町村處女會長ニ囑託ス

尚本部の事業規定は左の如くに御座候

一　地方處女會ノ發達ヲ助ケ未設ノ地方ニ其設置ヲ奬ムルコト
二　副業ヲ奬勵スルコト
三　中央ニ於テ處女會指導者ノ爲メニ講習及ビ講演會ヲ開クコト
四　地方處女會ノ爲メニ育兒、衛生、禮法、看護、割烹等ノ巡廻講習會ヲ開クコト
五　地方處女會ノ依頼ニ應ジテ講師ヲ派遣スルコト
六　地方婦人ニ適スル圖書ヲ發行シ又ハ圖書雜誌ノ選擇紹介ヲナスコト
七　職業紹介部ヲ設ケ上京スル地方婦人ニ職業ヲ紹介スルコト
八　相談部ヲ設ケ人事其他ニ關スル地方婦人ノ質問ニ應答スルコト
九　旅行見學等ノ目的ヲ以テ上京スル地方婦人及處女團體ニ對シ宿泊案內其他ノ便宜ヲハカルコト
一〇　婦人勞働問題、工女問題及ヒ職業問題等ニ關スル研究調査ヲナスコト
一一　中央及ビ地方ニ於ケル慈善救濟團體ト連絡ヲ保チ主トシテ不幸ナル婦人ノ救濟ヲナスコト
一二　不幸ナル境遇ニアリテ誘惑セラレントスル地方婦女ヲ未然ニ救濟スルコト
一三　成績優良ナル處女會ノ選彰ヲ行フコト
一四　孝女節婦其他ノ善行者ヲ表彰スルコト
一五　以上ノ外地方婦人ニ關スル各種ノ調査及研究ヲナスコト

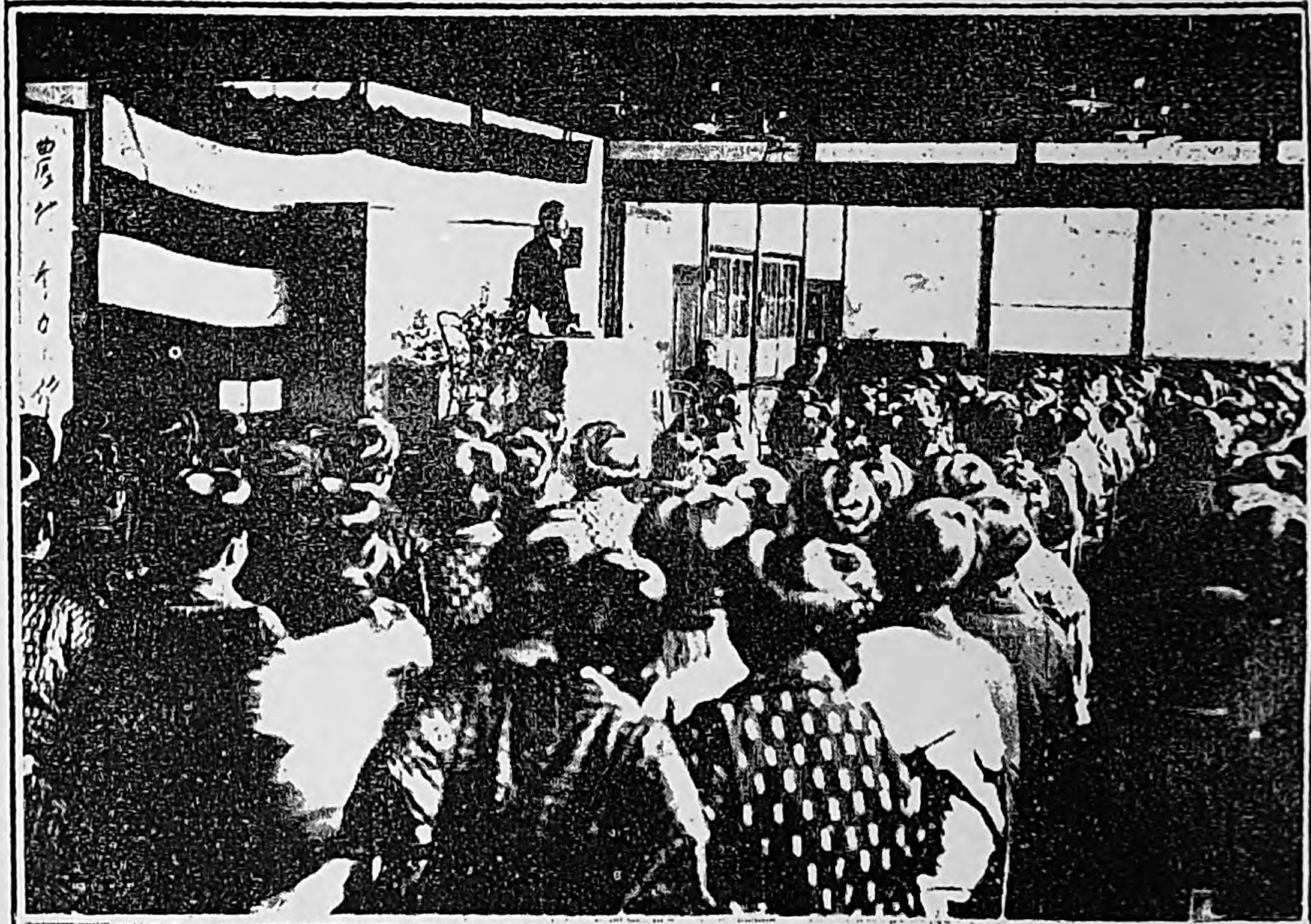
大正八年二月

處女會中央部

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

地方處女會の活動

（記事參照）



靜岡縣富士郡須津村淑女會總會（壇上に立てるは天野理事）

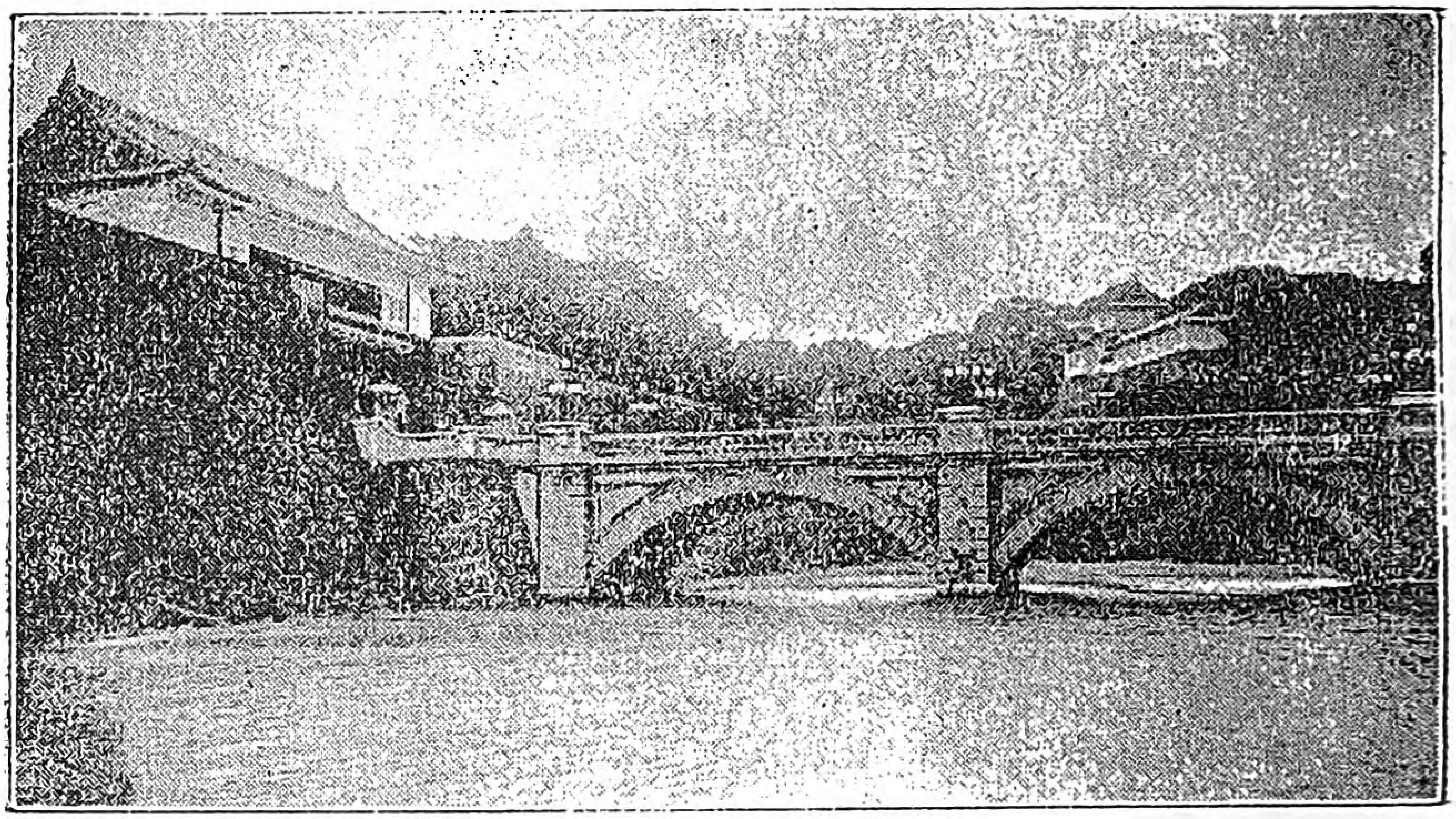
三重縣三重郡朝日村青年會處女會合同敬老會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

夕べの祈り　　ミレー筆

農家の夫妻が入相の鐘を聞いて静かに神にお祈りしてゐる所であります

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



處女之友　三月號

今日一日の事

一　今日一日、我が　皇室と父母の御恩を忘れず、不足いふまじき事

二　今日一日、決して腹を立つまじき事

三　今日一日、噓をいはず、無理なることをすまじき事

四　今日一日、人の惡口をいはざる事

五　今日一日の存命を喜び、家業を大切に勤むべき事

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

貴婦人の涙

一　夜汽車の窓から

先きごろ日頃御懇意にしてゐます日本橋のある立派な實業家の奥さんをおたづねしますと、いつになくふさいで居られます。四方山のお話をしましたが、いつものように晴れやかでありません。其の中しんみりとして

『××さん、私つく〴〵都が嫌になりましたの淋しい〳〵田舎に住みたいと思ひます』

『どうしてですか、急に』

とおききしますと、

『いろ〳〵面倒なことばかり多う厶いましてね、ほんとうに氣がくさ〳〵しますこと、もう都の暮らしが嫌になりました。寧そ淋しい田舎に暮らしたく思ひます。田舎に働いてゐます女の方は仕合せであります』

とストーブの前でうつむいて仰言る奥さんの眼は霑んで居りました。

『然し奥さん、田舎の娘などは、みんなあなた方の暮らしを羨んで居りますよ、よい家に住み、よい衣物を着て、馬車人力に乘つて居るお金持の奥さん達を理想としてゐますよ』

『いえいえ、人の仕合せとか不仕合とかはうはべでわかるものではありません、家や着物でわかるものではありません。私此間汽車の窓から遠くの山の麓でチラチラ光る農家の灯をみまして、しみ〴〵お百姓の家が羨ましくなりました。あの燈火を圍んで、一家むつまじく、話し合つてゐますかと思ひますと、たとへどんな苦しい仕事をしても、あんなうちとけた暮らしがして

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

みたいと思ひます』
奥さんのしんみりとした話に、私もつい釣り込まれてしまひました。

二　泣くに泣かれぬ苦しみ

皆さん、都會のお金持の奥樣や令孃が、みんなかうして田舍の暮らしを羨んでゐるといふ譯ではありません。然しこのような考をもつてゐる人は決してこの奥さん一人ではありません。又折にふれて、かういふ考を起こされる方は一層多いと思ひます。其で皆さんと御相談したいのです。

この奥さんの仰言るとほり人の仕合せ不仕合せは、うはべばかりでわかるものではありませぬ。仕合が立派な位や立派な家や立派な着物や美しい馬車などにばかり宿るならば、華族樣やお金持の家庭はいつも春のように。和氣がみち／＼てゐる筈です。然し實際をみますと、秋のような、冬のような淋しい冷めたい家庭が案外多いと申します人から仕合に思はれ、羨ましがられるほど、内わに悲しみがあると聞いて居ります。

又ある一人の貴婦人は、嘗て私にかういつて打明けたことがあります。

『田舍の婦人は仕合せです、悲しいときには泣き可笑しい時には笑ふことが出來ます悲しくつても泣くことも出來ず、可笑しくつても笑ふことも出來ない女が一番不仕合せであります。田舍の婦人は、私達にかういふ人知れぬ苦しみのあることを知りますまい。』

なつかしい地方の娘さん達よ、ようく此等の奥さん達の僞りのない心の聲をお味ひなさい。

三　人の平和

いつも申すことでありますが人は、兎角わが身の上を果敢ないものに思ひ込み、他人の身分や身の上をやたらに美しく華やかに見るものであります。煩悶とか虚榮とかは、多く此の考へちがひか

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ら起るのであります。

殊に女は常に家にばかり居つて廣い世間をよく見る折がない爲に、自分ばかりを悲しい不仕合せなものとしてしまふ風があります。中には、世の中の不仕合せを自分一人で背負つてゐるように考へ込んでゐる女もあります。勿論此の世に生れたからには、お國を背負つて立つてゐる大臣大將から、お猿さんをおんぶしてゐる花ちやんに至るまで、其れ相當な心配もあり、苦勞もあります。私は仕合せだ、何の心配もないときつぱり言ふことの出來る人は、よほどのえらい人か、さもなければ、よつぽど愚かな人でありませう。苦娑婆があるからこそ、樂娑婆があるのです。苦しみがあるからこそ樂しみがあるのです。

つら〳〵考へてみますに、ほんとうの人の仕合は何んでせう、どこにあるでせうか。私は、其は心の平和にあると思ひます。親を愛し、兄妹を愛し、隣人を愛し、町村を愛し、職業を愛する人にほんとうの幸福が旋つて來ると思ひます。人から愛せられようとするものは、人を愛さねばなりませぬ。自分が仕合せにならうとするには、人を仕合せにすることを考へねばなりません。

皆樣は、先づ皆さんのお家のどなたをも愛し敬ひなさい。さうして眞面目にお働きなさい。皆さんの爲に、皆さんのお家が陽氣に、愉快に、平和と和樂とを增すように心掛けなさい。屹度皆さんは家の方から愛されます。さうして仕合せが旋つて來ます。

軈て皆樣はお嫁にゐらつしやる。家に居つたと同じように、其の嫁いだ家のどなたをも愛しなさい。きつと仕合せが旋つて來ます。自分が仕合にならうとするには、先づ人を仕合せにすることです。

人を愛する人に、心の平和が得られ、仕事を愛する人に、身體の健康が酬いられます。身體が丈夫で心がたのしいといふこと、是が人生何よりの幸福ではありませんか。(泊雲)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

あたりまへのこと

山脇高等女學校長
中央部理事　山脇房子

石といふものは固くて重く、水に投げ入れますと沈んでしまひます。是はあたりまへの事。春が來れば櫻の花が咲き、秋になれば大抵の樹が紅葉します。是もあたりまへ。夏は暑くて冬は寒く、暑い時は撒いた水もすぐ乾いてしまひ、寒い時は雪が降つたり氷がはつたりします。是亦あたりまへで、不思議でも何でもありません。

烏や鳶は空を飛び、鯉や鮒は水の中に泳ぎ、熊や虎は深い山奥に棲んで居ります。これもあたりまへで、若し烏や鳶のやうな鳥を水の中に泳がせたり、鯉や鮒を陸の上にあげたりしますと、それはあたりまへでありませんから直ぐ死んでしまひます。

此の世界のありとあらゆるもの、何でも彼でも、皆あたりまへの事、あたりまへの物ばかりであります。ですから、人間もまた、あたりまへにすべき事をあたりまへにして行かなければなりません。

それでは、あたりまへにすべき事と言つたらどんな事かと申しますと、皆さんが小學校で、修身の時間にお聽きになつた話が皆それであります。親には孝行する、君には忠義を盡す、他人には親切にする、仕事には精出す、正直にする、従順にする、その他まだいろ〳〵ありませう。ところが、こゝに一つわるい〳〵惡魔があつて、皆さんをしてあたりまへにさせまいといたします。學校の先生や家庭の兩親がたが、あたりま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

へにせよ〳〵と仰しやるのに、横の方からその惡い者が出て來て、あたりまへなんぞにして居ちや面白くないから、かまはず勝手な眞似をするがよい。其の方が結局得だ、などゝいろ〳〵煽てます。そして、年若い娘さん達は、よく此の惡い者の煽てに乘せられます。

この惡い者の名は虛榮心と申します。

虛榮心は、皆樣も既に御存じの通り、『みえをはりたい心』であります。一度この心の惡魔の煽てに乘せられますと、貧乏人は自分の家の貧乏を忘れて、身分不相當即ちあたりまへでない衣服を拵へたり、あたりまへでない頭の飾り物をかけたり、あたりまへでない下駄を穿き、あたりまへでない持ち物を提げるやうになり、無學の者は自分の無學を忘れて、柄にもない即ちあたりまへでない物知顔をしたり、えらさうな風をしたり致します。そして、正直であつた人も不正直になり、勉强家であつたものも怠けものになり、眞面目であつた人も不眞面目になつてしまひます。實に虛榮心は、あたりまへの人をあたりまへでなくする心の惡魔で御座います。

先達て地方から出京された一人の娘さんに會ひました處『私は起きるとから夜寢みますまでそれは〳〵忙しく家の事を手傳はなければなりませんから、心の修養などする閑がなくて困ります』と申されましたから、私は『そのお手傳が大變な修養ぢやありませんか』と申しました。そして『そこを自覺なさらなければ、どんな境遇におなりになつても修養などお出來になりませんよ』と附け加へましたが、實際修養と申しますことは每日々々のあたりまへの事をしてゆく中にあるのであります。

大きい事は誰でも其の覺悟で取かゝりますから却つて行ひ易く、何でもないあたりまへの事は、つまらないやうに思はれるので却つて行ひ難いものであります然し、どんな場合にでも、あたりまへにさへして居れば、恥かくことも、笑はれることも、又恐れることも憚ることもありません。皆樣もどうぞ、何事もあたりまへにして、身分不相當の眞似などなさらない方がよいと思ひます。農家に生れた人は農業に勵み漁業家に生れた人は漁業に勉め、產業家に生れた人は產業に從ふといふことはいづれも皆あたりまへで、決して職業に貴賤の別はありません、我身のほどを知つてその分に安んずることが最も幸福であります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

子守のために

内務省囑託　生江孝之

□お上から一億萬圓

年をとつても養つてくれる息子のないものや、早くから子供に別れて途方にくれてゐる人や、親をなくして食ふに困つてゐる子供などを救ひ育てる仕事を慈惠救濟事業と申します。世の中が開け進めば、かういふ不仕合のものはだん〳〵減つてゆきさうに思はれますが、なか〳〵さうでありませぬ。生存競爭といつて、お互が暮らしてゆく爲には、人と人との間に競爭をしなければなりませぬ。弱いものや力の乏しいもの、はまけてしまひます。其の中でも年よりは若いものに勝てませぬ。然し年をとる頃には、息子が立派になるので、親の恩返しをして、よく面倒みてくれます。之を親孝行といつて、日本は世界一ばんの親孝行の國です。

然し外國にゆきますと、親子より夫婦といふことが

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

重もく見られてゐますので、息子夫婦は、日本ほどよく親の面倒みません。又息子夫婦にも子供が出來ますので、十分に親孝行をすることが出來ないことも無理はありません。ですから西洋では年をとつて困つてゐるものを、國で救つてくれます。英吉利では、お上の救助で食べてゐる者が一年に二百萬人もあります而してその多くは年寄であります。

之に比べますと、日本はくらしの樂な、さうして人情の溫いよい國であることがよくわかります。皆樣は青年會と相談して、お宅の御老人ばかりでなく、他人の家のお年よりまで敬老會をして面倒みてゐらつしやる。ほんとうにうつくしいことであると思ひます。

□日本人の鼻の低い譯

慈惠救濟事業については、またいろ／＼お話致したいことがありますが、今日はひとつ子守のことをお話し致しませう。

子守は日本にばかりあつて、西洋にないものであります。子守といふ役は、親に代つて乳呑兒の面倒みる大事な役をしてゐるもので、多く娘がしてゐます。皆さんも子守の背に背負はれて育つたのでせう。多く姉が子守役となつて、順々に弟や妹の面倒みてゐるようですが、人手の足りない家では、子守女をたのみます。子守が唄ふ歌が子守唄、あの子守唄をきゝながら、赤坊はすや／＼とよい氣持でねる、私も一度は赤坊で、母の背中で子守唄きゝながら、たのしい天國に上つたものです。

然し皆さんよ、子供を背中に縛つて背負ふといふことは子供の爲によくないことなのです。西洋の開けた國では、どこにもそんな所はないのです。身體だけではなく、精神の上からいつても害があるとの事です。

ある私の懇意な西洋人の奧さんが、私に、

日本人は鼻が低い、あれは子供の時に子守に背負はれて、鼻をこすつたからでせう。

とおもしろいことをいひました。西洋人に比べますと、なるほど鼻が低いけれど、是は子守女に背負はれ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

た爲かどうかしりませんが、とにかく子供の爲によくないことだけはたしかですから、子供を背中にしばりつけることはやめねばなりません。やめなければ世界の日本として、鼻を高くすることが出來ません。

□外國にない子守學校

然し是は永い間の習慣ですから、急にやめることはむつかしいでせうが、處女會員は、地方の娘さんのお手本であるから、皆さんからして段々改めてゆかねばいけません。

其ばかりではなく、今までの子守女の中には、小學校を卒業してゐないものもありましたから、子供の背負ひ方ばかりでなく、遊ばせ方でも、食べ物の與へ方でも、ねかし方でも隨分無理をしたり、亂暴なことをしたりしてゐたようでした。自分が遊びほゝけて、大事な子供の死んだのを知らずにゐた子守もあつたのです。皆さんのお父さんお母さんが、どんなに骨折つて爲になるように育てゝも、子守娘が智慧がなかつたり、行儀がわるかつたり、子守のしかたを知らなかつたりしては、なんにもなりませぬ。仍で是等の子守娘を敎育して、立派な子守とすることが大切なのであります、子守は小さなお母さんといつてもよい位の役目をしてゐます。

そんなら日本で子守女を敎へてゐる所は幾つあるかと申しますと、大凡十五ヶ所ありまして其處で敎つてゐる子守娘が七百人もあります。其の中一ばん評判のよいのは、長野市後町尋常小學校と福島縣郡山第二尋常高等小學校の子守學校と、群馬縣高崎市の私立樹德子守小學校などです。

皆様のお家はゆたかでありますから、他家に子守娘となつて傭はれることはないでせう。然しお母さんに代つて、皆さんの弟や妹や又親類の子供の子守をせられることはありませう。故に、子守學校でどんなことを敎へてゐるかといふことの大體をお知らせしませう。(子守學校のお話しは次にあります。)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

日本だけにある子守學校

一、樹德子守學校（群馬縣高崎市）

明治三十六年十月五日出來た學校で、生徒は赤坊や子供を背負つて參ります。中には一人で二人の子供を伴れて來るのもあります。赤坊は背負つたまゝで稽古しますが、少し大きくなりますと、子供を廊下に遊ばせ、子守だけ稽古します。

然し無邪氣な子供ですから廊下でさわいだり、子守をよんだり、又背中の赤坊が泣き出したりして、子守はおちついて稽古することがむづかしいことが多いさうです。

其故に、學校では、保姆を置きまして、赤坊が泣き出したときに、引取つて世話します。又廊下に遊んでゐる子供をおとなしく遊ばせます。

學科は修身、國語、算術、遊戲、唱歌、手工、裁縫などであります。教科書や、お草紙や、そろばんや、ものさしなど、一切學校で貸してくれます。

□子守の教へ

學校では子守の教として

一　子供を大切にすること（愛兒）
二　仲を好くすること（親切）
三　うそをいはぬこと（正直）
四　物を散らさぬこと（規律清潔）
五　言葉を少くていねいにすること（言葉づかひ）
六　何事も念を入れてすること（誠實勤勉）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

七　同じ事を二度言れぬ様にする事（反省）

此だけを十分に守らせてゐます。

又子守唄やまり唄は、子供の心と深いかんけいがありますので、よい子守歌をあつめて之を歌はせることにしてゐます。又よく子供を可愛がり、自分も勉强する生徒には御褒美が出ます。時々運動會や談話會を開きます。毎年雇人の休みの時に同窓會を開きます、此の時には、學校を卒業したものが大勢集まつてたのしい一日を送ります。もう立派な妻となつて自分の子供を背負つて來るものもあつて、たいへんたのしいさうであります。

□子守學校の校歌

何をしてゐるでせう

此處の校歌を歌ひませう。

（一）人の思ひ子あづかりて
抱きつゝせおひつゝ守る身の
重さはからだのみならで
常の心にあるぞかし
風も引かせず怪我させず
生ふしたてつゝ國のため
家のためにとつくすなる
子守の德こそたふとけれ

（二）

二、後町子守學校（長野市）

後町の子守學校も日本で名高い學校です。此處でこしらへた『子供の心得』といふ書物をみますと、次のようなことがかいてあります。

□子守の役目

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

一 子守は子供の母親を助けて、子供を育てる、一ばん重い役目であります。

二 子守は父母、主人、其の他目上の人に對しては、よくそのいひつけにしたがひ、教師の教へを守つて一心に己が役目をつとめなくてはいけません。

三 子守の心の善惡は、すぐに子供の心にうつるものでありますから、子守は常に正しい心がなくてはなりません。

四 子供は子守の行をまねるものでありますから、子守は常に禮儀を重んじ、言葉遣ひ、立居ふるまひにも氣をつけ、子供の手本とならなくてはいけません。

五 子供は親切に取りあつかひ、やたらに叱つてはなりません、子供は可愛がられると、可愛がられるほど其の人になづきます、然しむやみに子供のきげんをとつて、我まゝのくせをつけてはいけません。

六 子供の身體はまだ弱いものですから、衞生に氣をつけてやらねばなりません。

□子供の泣く時の心得

生れて六ケ月位たつた子供の泣き聲を聞き分けてみれば六つあります。

一 自分の思ふようにならない時は、はげしく泣き叫びます、この時には靜かになだめるのです。

二 あくびしては泣き、泣いてはあくびするのは、ねむたい時であります、此の時は靜かに頭をなで輕く背中をたゝいてやるのです。

三 なみだも出ずなんとなくあはれつぽく泣くのはお腹のへつた時でありますから、早く乳をやらなくてはいけません。

四 泣き聲が耳をさすようにじれて泣くのは、齒か耳のいたい時でありますから、醫者に見て貰ふようになさい。

五 泣き聲がやんだり泣たりして、兩足をちゞめ、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

力をこめて泣くのは腹のいたむ時です、薬をやるか醫者にみて貰ふか早く手當をなさい。

六 其の外からだにどこか惡い所があるときには、其の場所に依つて泣き方が違ひますから、氣をつけて見なくてはいけません。

□生れて一年の子供の泣き方

（一）眼をあき涙を多く出し、中聲で泣く時は、身體にいたみのある時です。此時は直ぐに下して、からだを調べ具合を直して貰ひなさい。

（二）眼をあき涙を出さずに頭を左右に動かして泣く時は、退屈したのです、此時は背より下して抱き歩るき、玩具、小鳥、草花などをみせなさい、

（三）眼を細め眼の中に少しうるみを生じて泣くのは、眠くなつた時です、此時はしづかに寢臺にねせるか、又は負ひ直して頭をかるくなでるがよいのです。

（四）眼をあき涙を少し出し、節をつけて泣くのは、腹のへつた時か、水を呑みたい時です、此の時は早く乳か水を與へるか、又一時を凌ぐにはぬるま湯を與へなさい。

（五）眼をあいたりふさいだりして涙を出さず、力をこめて身體を活潑に動かし、高聲を出して泣くのは身體の育つよい泣き方です、此の時は十分間程其のまゝ泣かせ、聲の低くなつた時抱いて玩具、繪、小鳥、草花などをみせるがよろしい。

（六）急に高い聲を出し、身振ひして泣くのはまはりにある物をみて驚き恐れた時です、此の時は直ぐに背より下して、手拭か、自分の袖を子供の顔にあて丶他所にゆくのです。又まはりにある物に氣をつけなさい、子供の夜なきは、このようなときに起ります。

坊やのお國はよいお國
後ろはお山前は海
魚がおどれば鳥が舞ふ
月がしづめば日がのぼる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

留守の妻より戰地の夫へ

□健氣なるフランスの婦人氣質□

内務省囑託　岡田次郎　作

□はしがき

ポール、ヴエルギエーといふ人の著しました『勇ましい佛蘭西國民』と申す書物の中に、戰地の夫へ宛てた妻の手紙が載つて居りました凛々しい健氣な覺悟が文字の中にあふれてゐますので、譯して皆さんに御覽に入れます。

御承知の通り、佛蘭西は、今度の戰爭で、一番苦しい破目に陷り、一時はもう危ふくなりましたが、覺悟のよい國民は、あわてず、あせらず、落ちついて、最后の一人となるまで戰はうといふ非常な決心をして、兵士は固より女も子供も老人に至るまで、一つ心になつてお國の爲に盡くしました。今度の戰爭の勝つたのは、全く佛蘭西の我慢强かつた爲といつてもよいのです。

次の手紙をようく讀んでごらんなさい。

□

おなつかしきあなたさま、度々おたより下され嬉しく拜見致し候。本日は其後のありさまをお知らせ致し候。私は心に思ひ候ことはつつみかくすこと出來ざる性分に候まゝ、何事もありのまゝ申し上げ候。左樣御承知下されたく候。

さて獨逸兵はいよ／＼私の里に參り亂暴を働き、私の家の目星しき道具を一切奪ひ去り申候。殘れるものは皆こわされ、思ひ出多き家の内はまことに見る影もなく相成申候。私は一時途方にくれ申候へども、思ひ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

返し、勇氣を出し居り候へば、あなた樣も、決して之が爲に御力をお落し下さらぬよう幾重にも御願ひ致し候。

先便に申し上げ候如く、私は去る

二十九日に分娩致し候

其の日は丁度敵兵が私の村を砲撃致し候ときに候へば、其の危險なること何んとも申し上げようなく、此の間に分娩（赤ん坊生むこと）致し候私の胸の中お察し下され度、當時在宅致し候は、御兩親と私の三人にて御兩親は御老體にゐらせられ候こと故、私一人にて心をいため申候。然るに其の甲斐もなく翌日私達は獨逸兵の爲に捕へられお寺に拘留

動物園

され申候。お寺に移され候てよりは、碌々食物も與へられず、私達は空腹と相成餓ゑ死の思ひ致し候。殊に夜に入れば、あなた樣に言ひがたき無禮のことを迫り、いふこと聞かずば

銃殺するぞ

とおどかされ申候。くやしさ御察し下されたく候。

夜中にはお寺の鐘つき堂に昇り探海燈を以て四方八方を照らし候爲、あたり物すごく候。彈丸は絶へ間なく落ち、危險なること申し上げようも御座なく候。

九月一日は、私共一家にとりて最も不幸なる日にて、敵の彈丸の爲に、母上は立ち所に敢なき最後を遂げられ候。其の上に末の子も右の腹を彈丸の爲に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

打たれ申候。此の時の私の心お察し被下度、子供は苦しみながら、頻りに食物を乞ひ候へども、與ふべきもの無之、私は張り裂くる胸を彼の頬に推しあて涙にかきくれ居り候ところ、彼は蟲の息にて『母さま、お寺はこわいからよそへつれていつて、いたいよ〳〵』と申し切らぬ中に、息絶え申候。私は思はず

死體にかぢりつきて

泣き叫び申候。其ばかりには候はず、老母に抱かれ居り候乳呑兒も、足を打たれ申候。然し幸に一命をとりとめ申候。

二日と相成候へば、又々敵兵の一隊當地に入り來り申候。私達は生きたる心地も致さず、打ち沈み居り候ところ、流石の敵もあまりに死者多きをみて、氣味わるく思ひ、且つ哀れと思ひたる爲に候はん。お寺の門を開きて遁げよと申し候。一同は吻として外に出で候ところ、彈丸飛び來り、危險此の上なく候。然しながら死傷者を出さゞりしは、仕合せに御座候。乍去私共一同つら〳〵思ひ候に、永く此に居らば、如何なる目に會ふやも知れずと一同申し合せ窃かに遁げ出し申候然しあまりに急ぎ候爲に、二回途中にて仆れ申候。常ならば格別のことなく候へども

產後肥立あしき

に加へて怪我せる乳呑兒を懷き居り候へば、腕は疲れ足は痛み、其の苦しさ言はん方なく、途方にくれ申候。乍去勇氣を出すは今と自身元氣をつけて、とうとうモンセール市まで、駈けつけ申候。此處には赤十字の病院有之候故早速乳呑兒の診察をたのみ候ところ、傷重き由にて、本意なく病院に愛兒の看護一切を依賴して、再び同所を立ちのき申候に、院にては私に一枚の鑑札を渡しくれ申候。聞けば、リユネヴイル市へ參る途中には、獨逸兵見張りを致し居候へば、鑑札なくしては、通行出來ざる爲に候。

愛兒を病院に托したれば、最早安心と私は鑑札を利用し、獨逸兵の目をくらませて、漸くリユネヴイル市

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

に到着致し候。同市には多數の知人も有之候へば、極めて好都合にて、早速其の一人なるボーリーヌ氏を訪問致し候處、同家には、ケレルミエール氏の御兩親も御滯在にて、いろ〳〵御世話に相成、お陰にて數日來の疲れも打忘れ申候。御兩人の御恩は永く忘るまじく候。

尚御老人のお話によれば、ケレルミエール氏も出征せられ候由なれど、未だ一回のお便りもなきこと〻て頻りに安否を氣遣はれ居り候。若し同氏の御樣子御耳に入り候はゞお知らせ下されたく願上候。

何卒〳〵私のこと御心配下さらず、あなた樣には、十分に勇氣を振ひ、愛兒二人の讎を打ち、一日も早く憎き獨逸兵を我が領土より追ひのけられ候ことを、神かけて祈り居り候。若し女にても出征すること許され候ように相成候はゞ其時こそ

私は眞先に銃を携へて

出陣し、あくまで敵兵を殺し候べし。

私は最早愛兒を失ひ果たし足手まどひも無之候へば萬一敵兵來り候とも、決して降參致さず候。然しながら未だ父上在ますことに候へば、私に萬一のこと有之候ては、此世に父上の御世話を致候ものなくなり候につき、父上を安全の場所に移しまゐらすまでは、あくまでも逃るゝ決心に御座候。

只今敵兵は、ケルムニール村に居り田舍を荒らし、家を破り居り候。人道を無視したる振舞憎みても餘りこれあり候。あなた樣の豫てより御昵近なされしシムニュー並にモーリース夫人を始めとして、ハニソー家も殘らず敵兵の刄にかゝり、生き殘れるは、父上と坊つちやんのメールソーさまのみに候。殊にお氣の毒なりしは、モーリース夫人にて、二人の御子供と一所に戸口にて殺され申候。此上はあなた樣と共に、勇氣を振ひ、お國の爲に此の怨みをはらすより外他念もなく候。乍去あなた樣と、永く〳〵生き長らへて

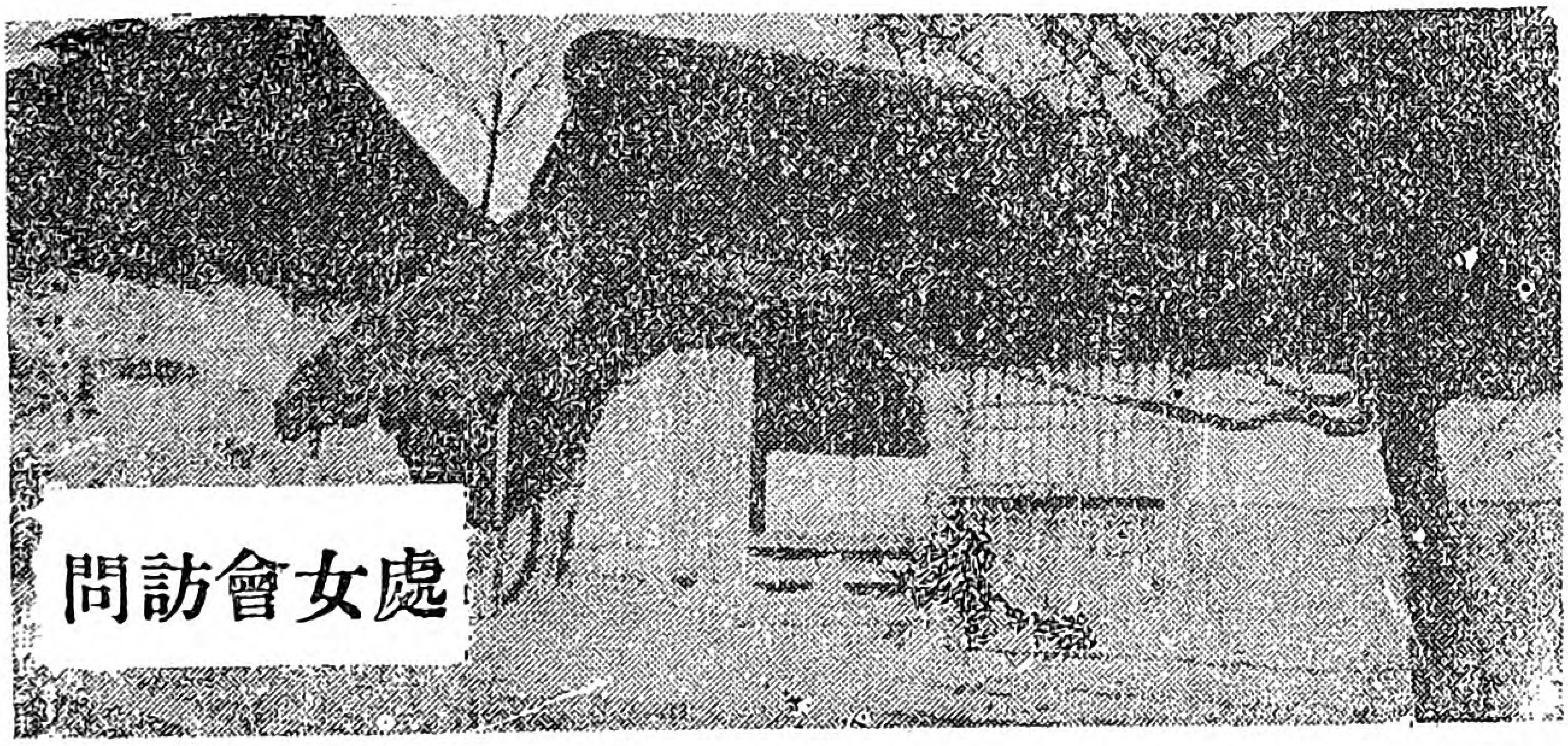
再び樂しき生活

を致したきは、山々にて候よ。御察し下され度、尚々申上げたきこと有之候へども、胸迫り筆動き不申候何卒〳〵御返じ下され度指折り待ち居候。

あなたを思ふて止まざる妻より

戰地のなつかしきあなた樣へ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



燒津町處女會

一月の四日に燒津町(静岡縣志太郡)の處女會に參りました。燒津町は日本武尊が蝦夷御征伐の途中草薙の劍で茅草を切つて土賊を平げたといふ古い言ひ傳への殘つてゐる、港を控へたよい町であります。

此處の處女會は去年生れたもので、まだたつて二歳にしかなりませんが、處女たちの勉強さ、先生方のお骨折の爲に、なか〳〵立派な會となつて居ります。會長は校長の河合先生。

會場は女子小學校で、其の日に集つた會員は三百名もありましたらうか、みなお行儀もよく眞面目でありました。此處の處女會でなつかしく思ひましたのは、先生方と會員とがうちとけて、いかにも仲のよささうな氣分のみち〳〵てゐることでありました。津端先生は理科の實驗を、朝比奈先生は手品をなさいました。何れも大喝采でした。

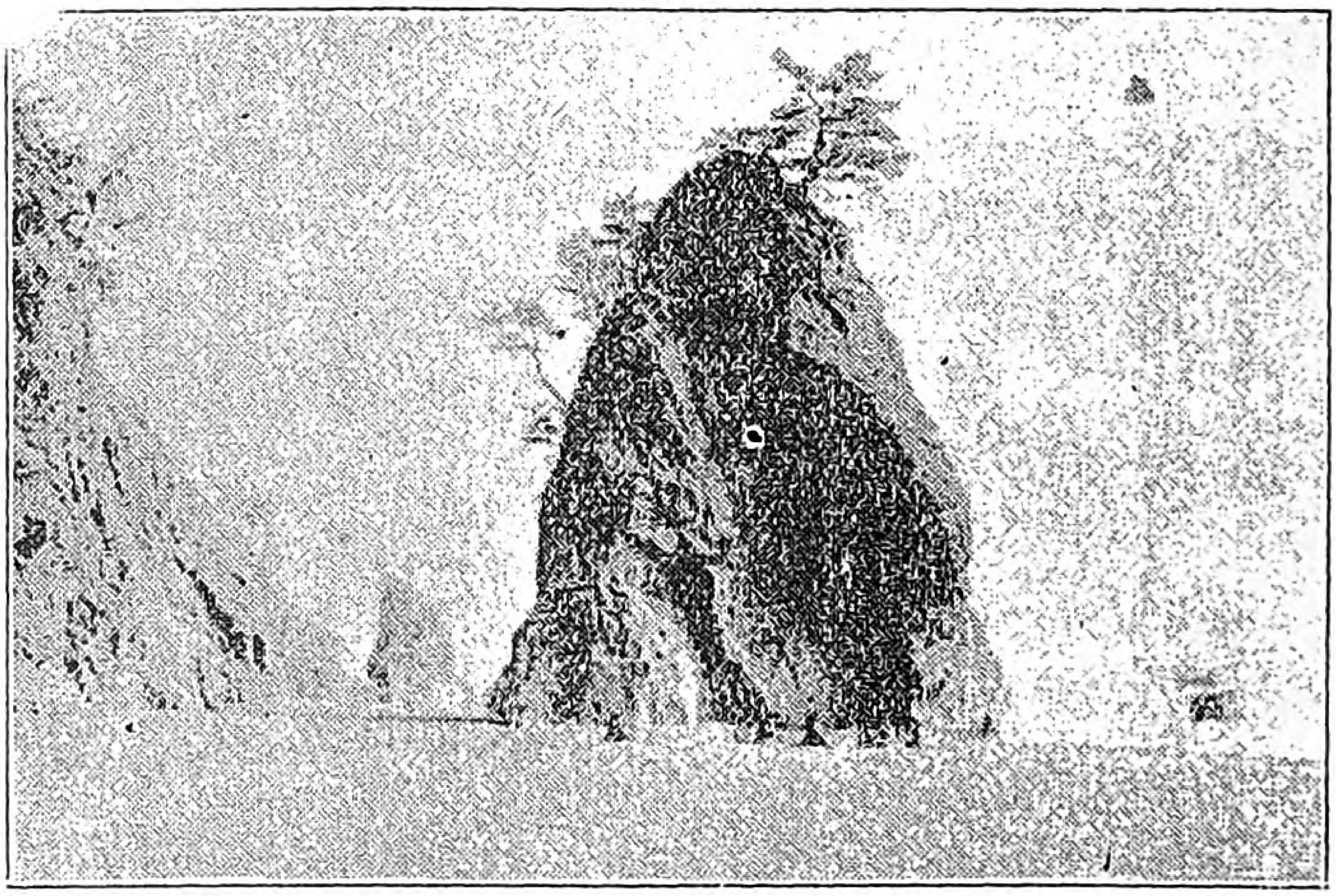
處女會員の唱歌や遊戯もたいへん趣味深くありました。教員の方のオルガンとヴアイオリンとの合奏もなつかしく思ひました。會員たちは家へ歸へつて屹度このたのしかつた會の樣子を、お宅の方にお話しなすつたことゝ思ひます。

しまひに、此處の町の出身の女學校生徒諸孃が、芝居と活人畫を演じまし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

た。芝居は一人の我まゝ娘が居眠りをして、お白粉をいたづらされ、お友達に笑はれるといふ筋で、活人畫は、天國といふ題で、兩方とも上出來で、寫眞にとりたかつたほどでした。

然し其の出來榮えよりも、私の嬉しく思ひましたのは、女學生が其の土地の處女達と一緒になつて睦み合ひ、勵み合つてゐることでした。中學校に通つてゐるものや卒業したものが土地の青年會に入りませぬように、今までの女學生は、土地の處女會に大てい入つて居りませんでした。然し是は考へちがひで、青年會處女會は、只補習教育をする爲の機關ではありませぬ。其の土地をよくしようといふ目的をも持つて居ります。近頃かういふことが段々わかつて來た爲に、中學生女學生は生れた土地の青年會處女會に入るようになつて來ましたのは、青年男女の爲にも、其の土地の爲にも大へん喜ばしいことであります。



燒津海岸大崩れのけしき

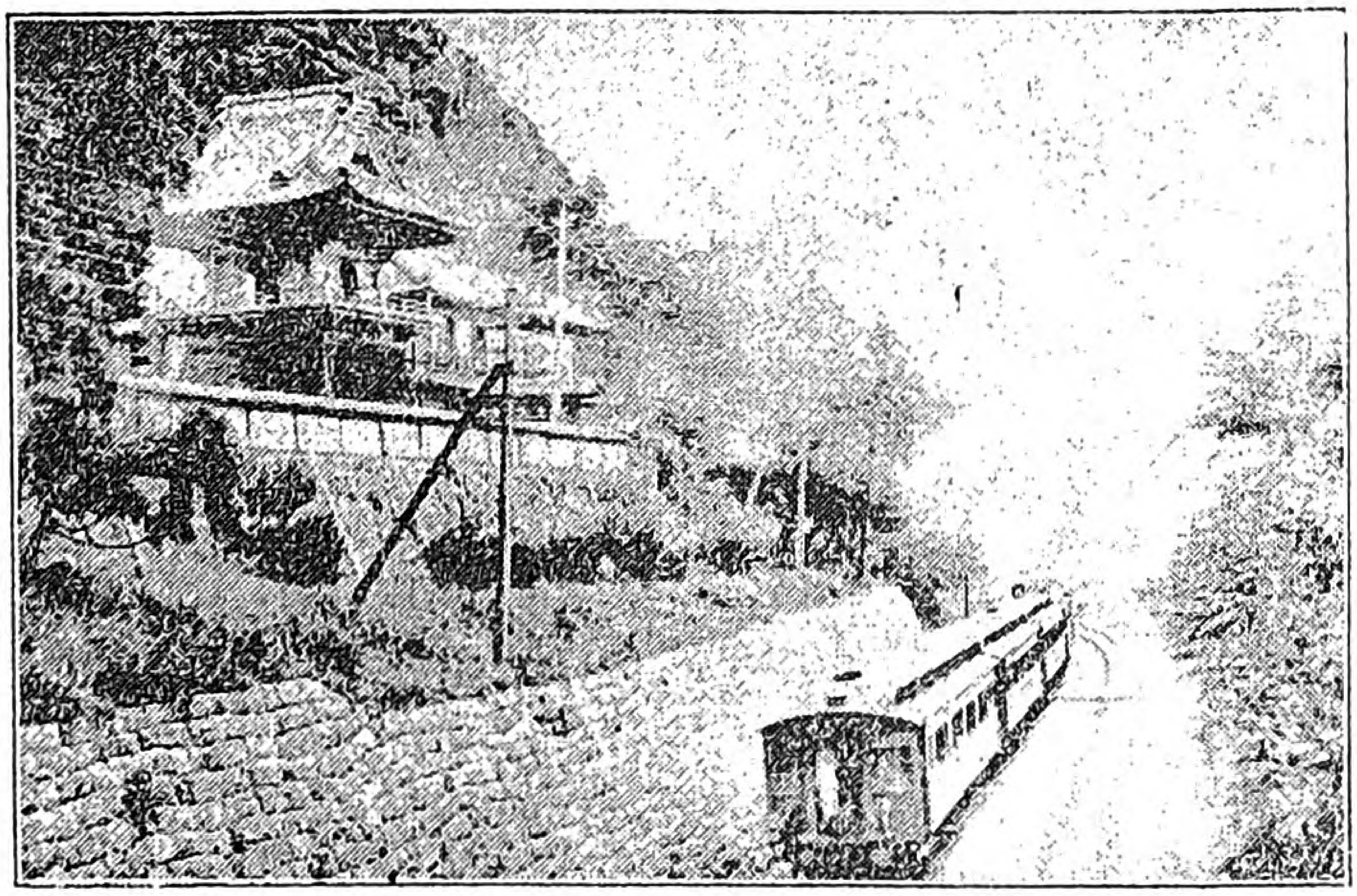
二　興津町八木間處女會

五日に興津町の八木間部落の處女會を訪ねました。八木間部落は興津町に屬してゐる大きな部落で毎月月始めの日曜日に集會所に集つて、いろ〳〵勉强することになつてゐるさうです。其の日には、となりの八津といふ部落の處女會員も見えました。處女會長は大澤先生で、村の有力の方が夫々役員をして居られ、先生の奥さまも熱心に會員を導いて居られることは、會員の仕合せと思

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ひました。
燒津もよい景色でありますが、興津も日本での名勝地、淸見寺や薩陀峠は誰一人知らぬものはありませぬ。よい景色とよい氣候とをもつたこのよい土地に生れた娘さん達は仕合であります、此上は靑年會と處女會の力に依て、此土地柄を尙もつとよくしなければなりませぬと、お話の中に加へて申しました。

處女たちは、みな眞面目で質素であります。聞けば近く七十歲以上のお年よりを招待して、敬老會を催すといふことで、其の日も午前は、敬老會の日に老人に進上する座蒲團をこしらへ合つたといふことでした。たいへんなつかしいことゝ思ひました。處女の眞心こめてこしらへた座蒲團は、どんなにふつくりと溫いことでせう、又その座蒲團を敷いてにつこと笑つたお年よりの笑顏は、どんなでせう。



興津淸見寺の鐘つき堂

三　須津村淑女會（口繪參照）

六日には富士郡の須津村に參りまして、靑年會と淑女會を拜見しました。鈴川驛から一里半ばかり北で富士山の麓の富裕な村であります。六日の晚に靑年會にお話をしまして、其の夜は大地主の伊達樣のお宅に泊めていたゞきました

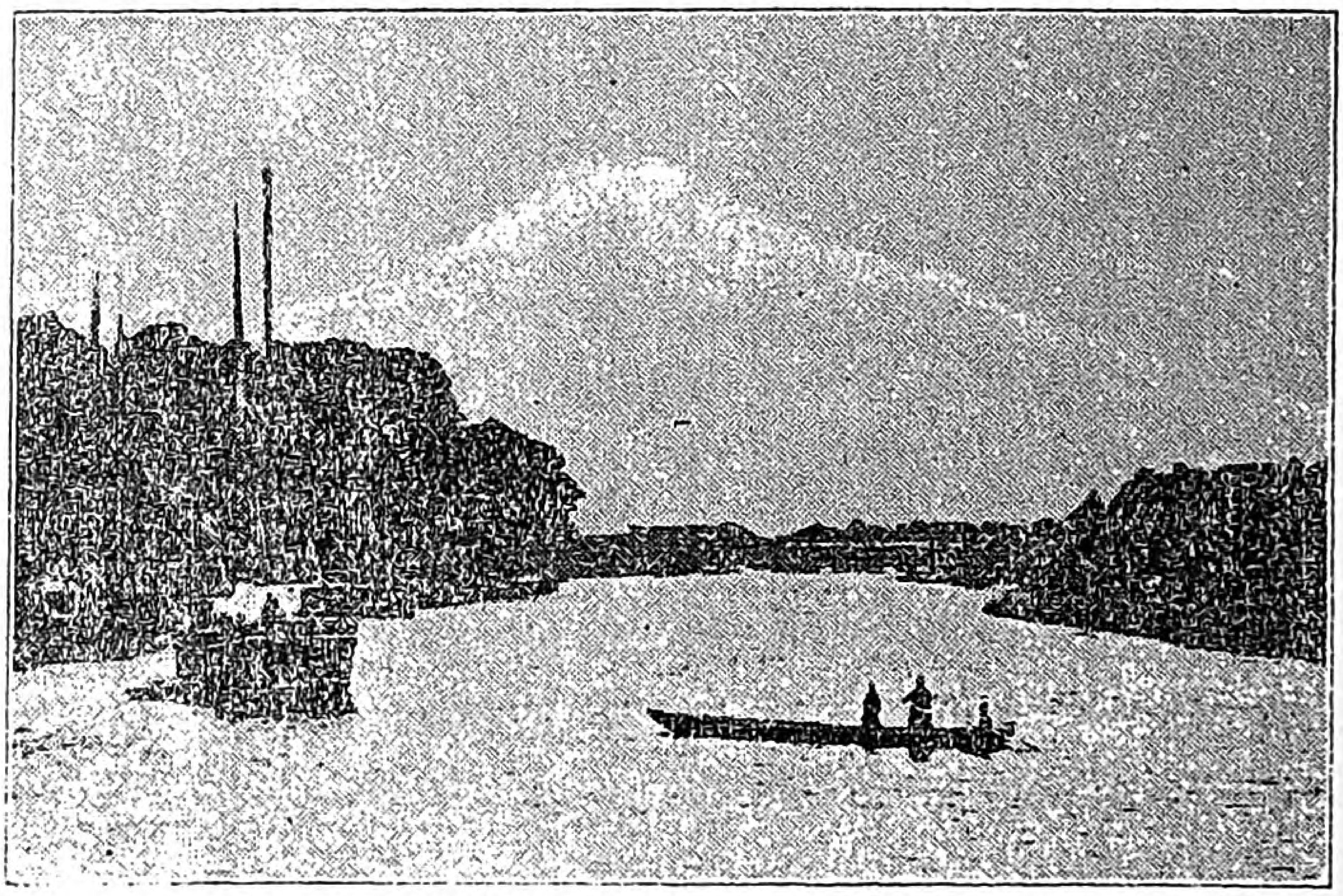
須津村の淑女會は久しい前から出來て居りまして、會長は校長の影山先生、職員の方や村の有力者が役員をして居ります。影山先生は私が小學校の時代に敎へていたゞいた恩師で、丁度其は二十年ほどの昔

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

さなります。其の上に永田先生と申し上げる矢張私が御厄介になつた先生が隣りの村にゐらつしつて、此の日にお見えになりましたので、私は大いへんなつかしく勿體なく思ひました。

此の日はまた何時にない朗らかな、丁度春のようなよい天氣で、正面に富士山がけだかくかう〳〵しく聳えて居ります。御勅題の『朝晴雪』そのとほり、ヂッと眺めてゐますと、心が澄み渡り、不淨の心地がとれてせい〳〵致します。この富士山の精神は、屹度村の人達の心に融け込んでゐるでせう。

集つた娘さん達は三百五十名もありましたらうか、口繪の寫眞は青年團長で、村の有力者の稻垣氏の撮影されたものです。私は自分の村の娘に會つたような氣分になり、とう〳〵三時間もおしやべりしましたが、みんなお行儀よく聞いて下さつたことを、嬉しく思ひます。



鈴川よりみたる富士

然し先生方にお聞きしますと、此頃工場が近くに出來たために、よくない風がよそから入つて來て青年がおしやれになり娘の中にもその風をまねるものがあるといふことでした。其はたいへんよくないことゝ思ひます。お嫁にゆくまでは、娘さんは、外のことに氣を移さず、目をくれず、家業大事に親孝行しなければなりませぬ。

富士山麓の處女達よ、おん身は富士山の、けだかいかう〳〵しい、其精神を胸に刻んで、強く優しくたのもしい立派な娘にならねばなりません。（あまの）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

一生口をきかぬ處女學校

天野藤男

一　日本にたつた一つ

滿足な人と生れながら口を聞かず、笑ひもせず、外出もせず、只默つて其の日〳〵を過ごして年を老つてしまふ。そんな學校が日本にあるかと皆樣は不思議に思はれるでせう。所が實際其があるのです、私は先頃親しく其の學校をみて來られたお役所の方に伺つたそのまゝを皆樣にお傳へします。

所は北海道龜田郡上湯の川で、其の學校の名を修女院と申しまして、天主敎の學校で、別に男子部もあつて、修道院と呼んで居ます。女子部には十八九歲から二十五歲までの、家柄も血統も正しい處女ばかりを收容して居ります。

二　卵や牛肉は食べない

生徒はどんな寒中でも每朝二時に起き、聖堂に入り跪いて靜かに朝のおいのりをします。其が終ると三時までめい〳〵に默想といつて心の穢れをのぞくための深い考に耽り、四時まで敎の歌を唱ひます。此の時間が處女達の一番たのしい時であると申します。

其から寢床を片づけ、また聖堂に入つておいのりをし、院長のお話を聞き、其が畢ると少しのごはんをたべても差支ないことになつてゐるさうです。其から一時間讀書、手工などをしましたあとで、二時間勞働致

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

しまして、其から食事をしますが、肉類や卵などは口にしません、又一年三十回斷食をします。

三　肌さはりの惡い着物

食事が畢りますと、煉獄の靈魂の爲めに祈りながら聖堂に參ります。煉獄といふのは天國にゆく關所のような所にゐる人の魂で、此處にゐる靈魂は凡て他人の祈りに依つて苦しみを免れ、天國にゆくものですから、其等の氣の毒の死者の爲に祈るのです。

其から讀書をしたり默想に耽つたりして、また二時間勞働を爲し日暮にまた聖堂に入つてお祈りをし、讃美歌を唱へます。其から夕飯を少したべ聖人傳の朗讀を聞いてまた聖堂に入り、夕べのお祈りをします。

きのふけふ

寢所は別々に區ぎられ、狹い板の間で室の内には何の飾りもなく唯十字架が一個と聖母の像があるだけで、寢臺には藁蒲團が布いてあります。着物は粗い毛織物で肌ざはりのわるいものだそうです。

四　人を知らぬ鷄

生徒は一週一度鞭をもつて我身を打ち懲らします。其から院長の許がありませぬと、どんな時でも口を聞くことは出來ません。又一歩も院外に出ることも出來ません生徒同志話も禁ぜられて居ります其ばかりでなく目の前へ黒い布を垂らして、わざと物を明るく見ることの出來ないようにして居ります。親兄弟でも容易に面會が出來ません

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

鷄を飼つてゐるさうですが、其の鷄はこの生徒より外に人を見たことがないものですから、お役所の人をみまして、おどろいてけたゝましく叫びながら逃げ出す樣子が物凄いやうだつたと申します。めつたに參觀を許しませんので此處をみた人は極く少ないさうです。

是が先づ生徒の毎日の生活方です。隨分と嚴重な學校ではありませんか。中には華族の娘もお金持の令孃もゐるといふことですが、少しも苦しみを訴へずに道心堅固に信仰に耽つてゐると申します。

五　人の爲に苦しむ

然し宗教といふものはこんな窮屈なものでせうか、口も聞かず旨い物もたべず、人と交際もせずに只お祈りばかりして死んでしまふ、其では信仰の甲斐がないでないか、生き甲斐がないでないか、世間に用のない人は生きてゐても無用の人でないか、全體どういふ譯で何んの爲にこんな眞似をしてゐるのでせうか、其と物も數奇にしてゐるのでせうか。

お役所の方も妙に考へて、

『全體どういふ譯で――』

とききますと、年老つた神父（先生）は銀の針のような髯をなでながら、嚴そかに次の樣に答へたそうです。

（此處にゐる男は年よりの神父一人だけたさうです）。

『さうです、私共は皆樣の世の中に用のないものでありませう、然し清い一人の人の祈りは千人の罪を償ふとか申します、私共は此の世の人達の幸福の爲に、あらゆる欲も望みもすて、神樣にお祈りをしてゐるのです。私達の苦しみの爲に、若し此の世の中の人達が一人でも幸福になることが出來ましたならば、どんなにたのしいことでございませう、此處の女は、其の一念の爲に、生涯お祈りをしてゐるのでございます』

皆樣神父の此の言葉を聞いて何んと思ひますか。又此處にゐます處女達をどう考へますか。皆さんは皆さんの身の上に引き比べて何んと思ひますか。感じたことを書いて私に見せて下さいませんか。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

模範處女會

□福井縣遠敷郡遠敷村遠敷部落□

一 處女會內助の功

遠敷村處女會は、明治四十四年十一月青年會と同時に出來ましたが、段々盛んになりまして、今では縣下ばかりでなく、日本でも名高い處女會になりました。大正五年二月十一日の紀元節にその青年會が內務大臣から表彰せられましたのは、處女會の內助に依ると申します。

妹の處女會が內助した爲に、兄の青年會が御褒美に預つたといふと、何んといふなつかしい立派なことでせう。

二 年齡と補習の教育

會員は正會員（十六歲より二十五歲までの未婚の女）、準會員（定めの年の外のもの）特別會員（二十五歲以上になつたものとお嫁にいつたもの）との三つに分れて居りまして、現在四十餘名の會員があります。

每水曜日の度每に夜學を開き、作文、習字、家事、修身などを習ひ唱歌も歌ひます。時間は冬は夜の七時から十一時まで、夏は八時から十二時まで習ひます。（寫眞が處女の友一號に出來ます）

お話の泉

一 お休みと犯罪

人は忙しいほど仕合せであります。フランクリンも仕事を追ひかけよといつて居ます。閑であるといろ／＼のことを考へます。獨逸の統計によりますと、喧嘩口論や犯罪は次のようになつてゐます。

日曜日祭日	六百二十八件
月曜日	百八十二件
火曜日	九十五件
水曜日	六十七件
木曜日	六十二件
金曜日	八十二件
土曜日	九十四件

日曜日に多いのはお酒の爲で、月曜日に多いのは二日醉の爲であると申します。

英吉利では

日曜日祭日	四百九十五
月曜日	千三百三
火曜日	八百七十
水曜日	八百五十一
木曜日	七百三十八
金曜日	七百六十六
土曜日	千三百十七

日曜日に少いのは、一切酒を賣ることを禁ぜられてゐるからだといひます。

二 福の神と貧乏神

福の神が申しました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

學年はいろ〳〵に分けてありますが、一番上の級は高等女學校程度の學科を習ひます。會場は、青年會と仲間で建てた公會堂であります。公會堂にはいろ〳〵の書物をもそなへてあります。

三　財産一千圓

毎月二回お寺の和尚樣から爲になるお話しを聞き、祝日祭日には學校の先生から祝日祭日の由來を敎へて戴くことになつて居ります新年と紀元節と天長節には、拜賀式を行ひます。

村に火事とか、地震とかあつて困つてゐる人には、會で寄附を致します。一反歩あまりの水田をもつて居りまして、處女會員がお米をつくります。會で入用なお金は、なるべく父兄から貰はぬようにめい〳〵仕事をして稼いで居ります。會費は一月三錢宛納めます。

會員は一ケ月十錢以上を貯蓄し、お嫁にゆくときでなければ引出されません。お嫁にゆく時には、お金を處女會に寄附します。

現在の財産は、青年會と仲間で一千圓ばかりあります。

四　青年を招待して

此處の處女會の一つの特色は、其の年入營します青年を、處女會が公會堂に招待して、いろ〳〵の御馳走をなし、とりもちを致し、唱歌を歌つて元氣をつけてゐることであります。處女が青年の入營を勵ますといふことは、何んといふたのもしいことでせう。

一に一切すなほにて
二に柔和で慈悲深く
三にさからひ爭はず
四つに善し惡し辨へて
五つ五つの人の道
六つ無理せず無理云はず
七つ中よく交れば
八つ家内が嬉しがり
九つ子たちや孫までも
十に富で盛んな福大黒をみなさい

貧乏神が申しました。

一にいぢがきたなく
二に苦い顔付で
三に先操りばかりして
四つ慾が深く
五つ何時も働かず
六つむごいことばかりして
七つなさけが無い故に
八つ家内がばた〳〵と
九つ小言の絶間なく
十でさんざ仕舞つた

三　利休の叱言

或人が千利休を招いて西瓜に砂糖をかけて出された所、利休は砂糖のない所ばかりを食つて歸り、後に門人に向つて言はるゝよう、あの男人を馳走することをわきまへない、我に西瓜を出されたが、砂糖をかけて出された、西瓜は西瓜の味をもつてゐるものをつまらぬことをするものである。と笑はれたといふことであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

帝國議會の話

皆さん此の頃の新聞をごらんになると、きつと議會のことが出てゐませう。國民黨が反對したとか、誰々は政友會の議員であるとか、明日は選擧法の打合せ會議があるとかいろ〳〵出てゐませう。皆さんも是等のことの大體を知らねばいけません。

帝國議會は、皆さんのお父さん達が、選擧した代議士が、大勢集つて日本の國の大事な事柄を相談し合ふ會議で、開けた國には大抵議會があります。帝國議會は、貴族院と衆議院とから成り立つてゐます。始めて議會を開きましたのは、憲法の發布された二十二年の翌くる年の十一月であります。其から四十回開きまして、今年の議會は四十一回の議會であります。

議會は大抵三ヶ月卽ち九十日間開くのを普通としてゐますが、其より長くなるときには、勅令が出ます。

一　貴族院

貴族院は上院とも申しまして、(一)皇族のお方(二)公侯爵のお方(三)伯子男爵と選擧して當選したお方、(四)國にてがらのあつた人や又は學問の出來る人で天皇陛下より御沙汰を賜つた人(五)各府縣のお金持で其の仲間から選び出された人、この五色の人から成り立つてゐます。

皇族は滿二十歳になると、議員になります。公爵又は侯爵の人は滿二十五歳になりますと、どんな人でも議員になります。

現今の貴族院議長は公爵の德川家達といふ方、副議長は侯爵の黑田長成といふ方です。

皇族議員は伏見宮、閑院宮、東伏見宮、梨本宮樣を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

はじめとして、みんなで十四人の宮様であります。

公爵議員は、德大寺、山縣、毛利、二條、九條、大山、島津公爵などみんなで十三名あります。

侯爵議員は大隈、西園寺、松方、松平、前田、小村侯爵などみんなで三十六名あります。

伯爵以下はお仲間の中から選擧したもので、現在の伯爵議員では柳原、松浦、松平、島津、柳澤伯爵など十七名あります。

子爵議員は五十七名、男爵議員は六十名あります。

國にてがらがあつて勅選せられた議員は百名あまりありまして、皆さんの御存知の次のような名高い方もあります。

帝國議會を開いてゐる所(衆議院)

加藤高明　後藤新平　平田東助　牧野伸顯　高木兼寛　岡田良平　石井菊次郎　仲小路廉　石黑忠悳　山川健次郎

多額納税者議員は各府縣から一名宛出て居ります。皆さんの縣から出てゐる人は誰ですか。

二　衆議院

衆議院議員は、年齢満三十歳以上のものは誰でもなることが出來ますが、其には大勢から選擧されて當選しなければなりません。皆さんのお父さんは、誰を選擧しましたか。又皆さんの縣から誰々が衆議院議員となつて居りますか。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

衆議院議員は今は三百八十一名になつて居ります。現今の議長は大岡育造氏で、副議長は濱田國松氏です代議士の職業の中一番多いのは、農業です。青年會や處女會の代表者が多いわけです。卽ち三百八十一名の中八十一名が農業です。然し實際鍬をとる人はないでせう。然しこれからは、ほんとの農民が議員となり大臣となるようにならねば、國の不仕合です。年は五十歳から六十歳位の人が一番多く、七十九歳の人もあります。若い方では三十一歳。

三 政黨の事

政黨といふのは、選び出された代議士の中、國の政治について考へが同じであるものが集つて、相談し合ふ組合のようなもので、今では政友會、憲政會、國民黨が重な政黨で、政友會は全國に八十萬人の黨員がありまして、百六十餘名の議員を出してゐます。今の內閣總理大臣原敬氏は、政友會の總裁です。中橋文部大臣、野田遞信大臣、床次內務大臣、山本農商務大臣も政友會の黨員です。ですから今の內閣を政友會內閣なとごといひます。

憲政會は三十萬人の黨員をもち、百十八名議員が居ります。總裁は子爵の加藤高明氏で、大隈內閣の時に大臣をした尾崎行雄、河野廣中、武富時敏、高田早苗箕浦勝人氏なども會員です。

國民黨は十萬人の黨員を有し、三十六名の議員を出して居ります。犬養毅氏が總理です。

此外淸和俱樂部、新政會などといふ政黨もあります政黨へ入つたり、脫會することは自由です。それ故に議員が殖えたり減つたりします。皆さんのお父さんの選擧した代議士は政友會の人ですか、憲政會の人ですか、お父さんに聞いて下さい。

貴族院には、硏究會、茶話會、土曜會、無部屬などの各派があります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

鹿兒島縣の處女會

鹿兒島縣は、青年會の盛んな土地でありますが、處女會もなか〳〵發達して居ります、昨年の十月一日に、知事さんは、處女會をもつと立派にするようにと次のような達しを出しました。

〇處女會の本旨

一、處女會の本旨

處女會は義務教育修了後の處女が、團體的訓練によりて、日本婦人たるの美徳を涵養し、家庭及社會の實生活に適切なる智能を修得し、貞淑にして健全なる主婦たり良妻賢母たるの素養を得しむるを以て其本旨とす。

今其の細領を示せば左の如し

(一)國家的精神の涵養に努め、忠孝の本義を體得し、處女の品性を向上せしむること

(二)實際的生活に須要なる智能を修得し、簡素精勵の氣風を養ひ、以て健全なる主婦たるの素養を得しむること

(三)堅實强固、貞淑温良なる德操と、健全强壯なる身體とを練磨し、以て良妻賢母たるの素質を養ふこと

二、處女會の組織

(一)處女會は之を特設し、又は婦人會の一部として組織す

(二)處女會は町村内に於ける義務教育を終りたる未婚の女子を以て組織す

孝女白菊物語

今を距る數十年前、肥後國熊本に本田昭利といふ武士が居りまして、妻竹子との間に、昭英といふ男子を設けて、一家むつまじく暮らしてゐました。

或時昭利が郊外の菊見にでかけますと、白菊の今を盛りと咲きみだるゝ野邊に、おい〳〵と赤子の泣き聲が聞えます、はていぶかしやとおそる〳〵近よりますと、玉のようなかわいらしい女の子が乳をもとめて泣いてゐます。

どこの親かしらぬが、このような可愛らしい子を野邊にすてるとは、さてもいぢらしい

とつか〳〵と近よつて抱き上げ、頬ずりしながら我が家に戻つて、妻にありし次第を物語りますと、情け深い妻竹子、さらばその子を今日より私が育てませうと、其日よりこのすて兒は、昭利夫妻の中に、愛育されることになりました。

生れながらもつて生れた美しい眉目かたち、其の氣だても白

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

但し義務敎育を終らざるも、學齡を越えたるものは入會せしむ

(三)處女會員にして結婚せるもの、又は年齡二十歲を超過せるものは會友とす(又は贊助會員)

(四)處女會設置區域は町村を單位とするを常例とす

但し土地の情況に依り、小學校區域を以て組織するも妨けなし

(五)處女會には支部(支會)を設くることを得

(六)學校區域を以て組織せるものに在りては、別に町村聯合處女會を設くるものとす。但し町村聯合處女會は單に幹部役員のみの集會に止むることを得

三、指導者及援助者

指導者は設置區域並其組織土地の情況等により小學校長、敎員又は町村長其他名望ある者をして之に當らしめ、町村吏員、神官、僧侶、警察官吏、醫師、名望家、婦人會中適當と認むる者に協力して援助指導せしむべし。

四、施設事業

處女會の主たる目的は修養にあり、故に各般の施設と事業とは其の修養の方便として最も適切なるものを選擇するを要す、今處女會の施設事項として適當なるものを擧ぐれば左の如し

補習敎育、敎育召集、講話會、講習會、巡回文庫、見學視察、品評會、展覽會、運動會、普行者表彰、出鄕女子の指導聯絡、兒

菊の風情そのまゝの優しさけだかさ、夫妻は蝶よ花よといつくしみ育て、ゆく〳〵は昭英とめあはせうとの心より、昭英を兄と呼ばせてゐましたがこの兄、妹の優しい氣立と違ひ、至つてあら〳〵しく、親の言つけを守らず、よからぬ行のみありましたので、家を追はれてしまひました。

∴

月日に關守なく、白菊はいつかうひ〳〵しい娘となりましたが、此の頃丁度あの名高い西南戰爭が起りまして白菊の父昭利も大西鄕に味方して、家出してしまひましたので、妻の竹子は行衛も知らず落ちしのび、さう〳〵阿蘇の山里にわび住ゐすることになりました。

夫の昭利は、家出して以來何んのたよりもなく、生死のほどさへわからぬので、竹子は案じくらしてとう〳〵病の床につきました。白菊は朝な夕なてあつき孝養を盡くしましたが、母の病は重るばかり、やがて其の年の秋の末つかた、七草のしとねに蟲の音の細い夕べのこと、母は白菊を枕邊によびよせて、

『お丶白菊よ、そなたはようこそ母の面倒みてくれやるぞ、身に泌みて嬉しく思ひまするぞ、』

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

童出席就學奬勵、慈惠救濟、敬神崇祖、敬老會、追悼會、謝恩會、言語風俗改良、規約貯金、時間勵行、副業奬勵、家庭改良、公衆衛生等

指導者は右事項中より其土地の情況を察し、處女の境遇より考へ、處女會本旨の實現に最も効果あり而も確實なるものを採擇實施するを要す

五、推持の方法

事業の收入、會員の醵出、町村補助金、篤志家の寄附、基本財產よりの收入等により支辨するの方法を講ずべし

六、指導上の注意

（一）處女會は可成家庭的鄉土的に發達せしむべしと雖も、彼等をして國家的觀念を强烈に修養せしむることに留意すべし

（二）田園趣味を皷吹し、愛鄉の精神を養ひ質素堅實を尙び虛榮射倖、骨惜みを極力排斥することを努むべし

（三）個人として團體として處女の修養法を具體的實際的に指導すべし

（四）知足安分と向上發展との兩面に關する人生觀を善導し、安んじて活動修養せしむることに留意すべし

（五）婦人會、農事小組合、靑年會、農會等町村內各種の團體と密接なる連絡を保ち互に援助し、統一ある指導を爲すべし

（六）會員、相互助言忠告の方法により虛心坦懷親善なる團體の風格を作興せしめ、特に人の美を嫉まず却て其の美を濟さしむることに努むべし

『母さま、何んの、勿體なうございます、其よりか早う〳〵お快くなられまして、御機嫌よいお姿が拜みたう存じます』。折から野邊をわたる秋風に、灯がほそうゆれて、蟋蟀の聲がかすかに聞えます。

竹子は、せき入る胸を抑へつゝ

『白菊よ、けふはそなたに言ひやることがあるぞよ、よう聞き分けてくれよ、外でもない、そなたは、この母を眞の母と今が今まで思ふて居られようがの、まことはそなたは捨て子なりしぞよ』

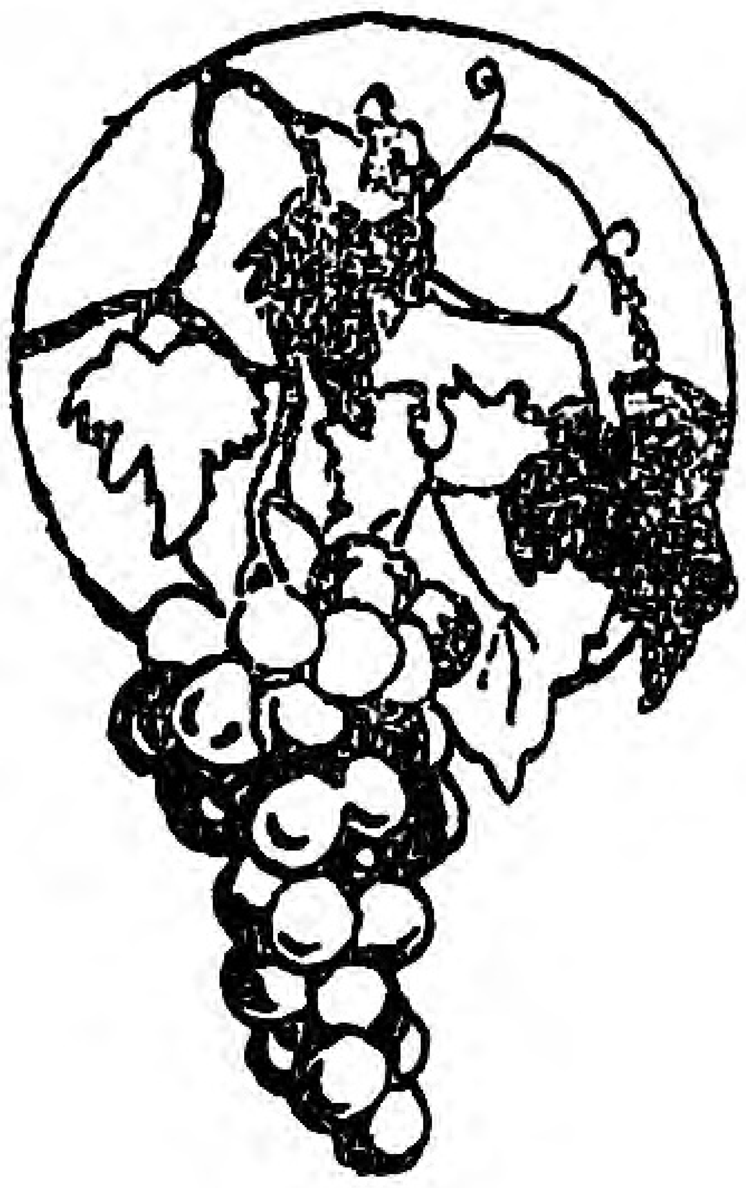
『えゝ母さま、私が、してどうして…………』

母はおどろいて泣きしづむ白菊の手をとつて

『かがなへば、今から十四年のむかし、丁度秋の今頃、父君がつれ〴〵のまゝすゞろあるきしたまひしに、白菊咲きみだるゝ野邊に、ふと思ひがけぬみどり子の泣き聲、近つけば、まだ生れたばかりの可愛ゆいみどり子、おゝ哀れと拾ひ上げて育てたのが白菊そなた…………』

始めてわが身の上を知つて白菊は、よゝと泣き崩れてしまつたのでございます（次號でをはる）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



榮養と食糧の話

内務省衛生局編纂

内務省では食物と榮養の關係を極くわかりやすく書いて公にしました。爲になるお話ですから是から毎號順に少しづゝそのお話をのせます。

第一節　食物は何故大切か

金銀づくめの立派な洋燈を、蒔繪の燭臺に飾つて置いても、若し之に油を注ぐことを怠つたならば、燈火は消えて闇になります。生命なる燈火を燃やす油は、實に食物であります。

人の世に缺くべからざる物は、**衣と食と住**とであると、昔しから言はれて居ます。成る程、衣服も住居も大切であるには相違ありませんが、併し**食物の大切な**ことは、遙に夫れ以上であります。衣服や住居にお金をかけて、食物のことを等閑にするのは丁度洋燈や燭臺を美くして、油のことを忘れたと同じであります。洋燈や燭臺は立派でなくても、**油さへ良ければ火は明く輝き渡ります**。衣服や住居は一通で事は足りますが食物のことは吟味しなければなりません。

人が生きて居る間は活氣があつて、體は何處に觸れても温かであります。筋肉が働いて仕事をします。左の胸に手をあてゝ見ると心臟は絶間なく搏つて血を送つて居ます。斯樣な力は一體何處からどうして起るのでしやうか。是れは全く體の内にある**成分**が燃されて起つて居るのであります。

Digitized by Google

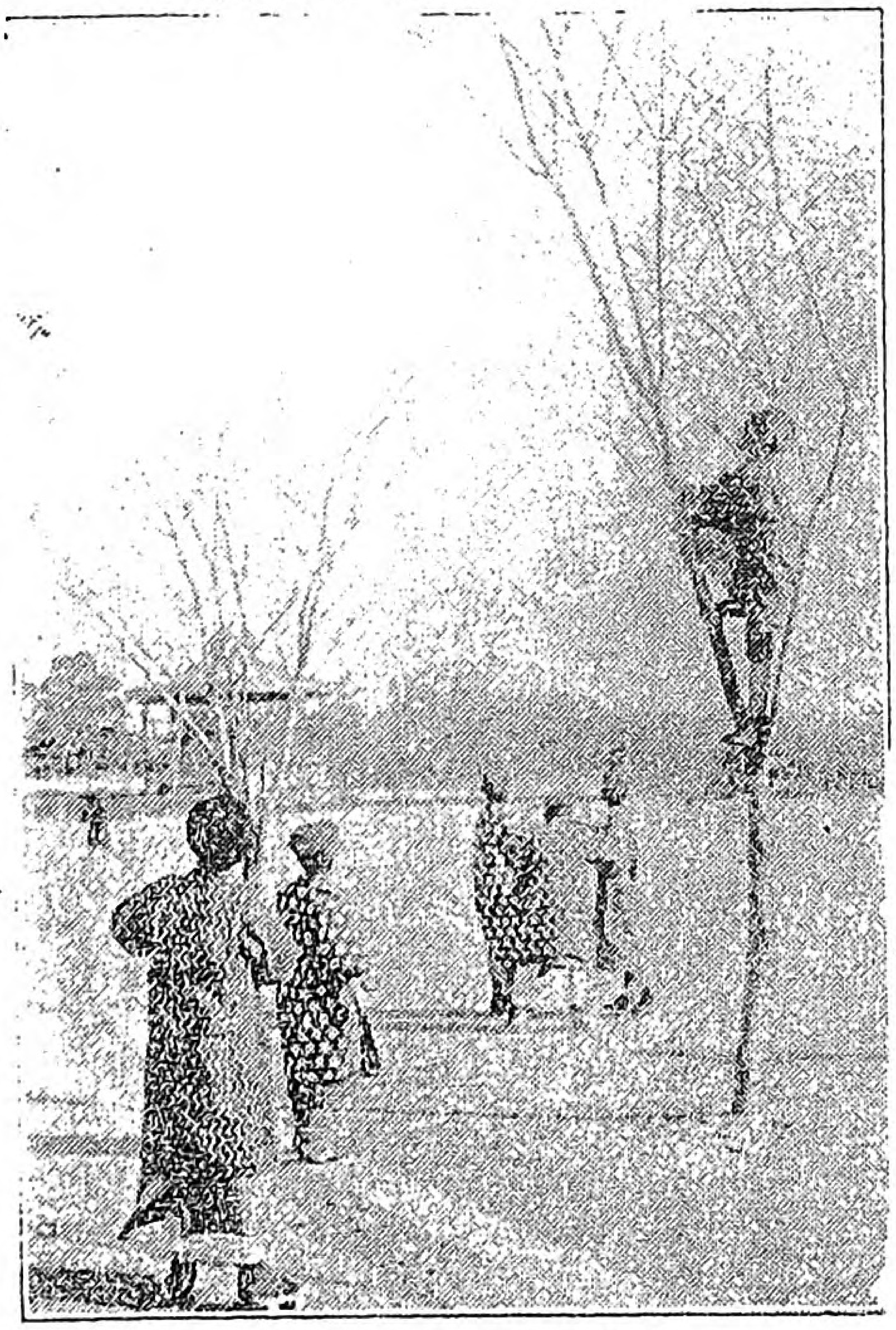
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

蒸汽機關を御覽なさい。アノ力や、アノ熱が起るのは、全く石炭が燃されて居るからであります。人の體の活氣を造る原になる物は、蛋白質、脂肪、含水炭素と唱へらるゝ成分であります。

蛋白質とは、肉類、豆類等の中に多量に含まれて居る物で、夫の卵の白味の如きは稍純粋な蛋白質の種類であります。脂肪は、申す迄もなく油分でありまして、肉の脂肉や、青魚や、胡麻、落花生等に澤山あります。含水炭素とは、砂糖や澱粉の類を云ふのであつて、専ら穀物、諸類、果物類等の中に多量にあります。

試みにお竈に薪を燃します折に、全く其の口を締めて御覽なさい、火は決して燃えません。是れは物が燃ゆるには、空氣中の酸素が入用であり、隨つて空氣がよく流通して酸素の供給が十分でなければならぬからであります。夫れから又、煙出が塞がつて仕舞つても火はよく燃えません。是れは物が燃ゆる際に、炭酸瓦斯の如き不用物が出來てそれが竈の内に籠るからであります。

凧がひつかかつた



日比谷公園の日曜

人の體の成分が燃えるのも全く同樣であつて、此の必要な酸素を空氣中より取り、不用な炭酸瓦斯を外界に捨てる爲に呼吸器が働いて居るのであります。新鮮な空氣が衛生上なぜ大切であるかはこれで分ります。

さて蒸汽機關が働いて居る間は、石炭が燃えて無くなる樣に體が活きて働いて居る間は、體内の蛋白質、脂肪、含水炭素が絶えず消費されて居ます。夫れです

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

から、蒸氣機關が長く働く爲には、跡から〱と石炭をつぎ足さなければならぬと同じ樣に、體がよく働く爲には、其の消費せらるゝ成分を十分に補はなければなりません。其の爲に日々食物が取られて居るのであります。又た子供の樣に盛んに成長しつゝある者ではたゞに失はれた成分を補ふ計でなく、新らたに體の成分を殖やす爲にも、食物が大層必要であります。若しそれを補ふことが不足すると、身體は段々瘦せ衰へて終には死なければなりません。

人の體の成分には、前に述べた蛋白質、脂肪、含水炭素の外に、水と鹽分とがあります。水や鹽分は、蛋白質、脂肪、含水炭素の樣に燃えて力を出す作用はありませんが、矢張り大切な働をして居ます。ですから食物は此の五通の成分を有つて居なければなりません。そこで此の五通の成分を總稱して養素或は食素と云ひます。

養素の中、蛋白質はとり分け大切であります。何故かなれば、生き物の體には含水炭素や脂肪は僅かしかない場合にも、蛋白質は必ず割合多量にあり、そして此の最も大切な體成分たる蛋白質を補ひ或は新生するには、必ず食物として蛋白質を取らなければならぬからであります。又同じく蛋白質と云つても、其の種類は數限りなくあるのでありますから、自分の體の蛋白質を造る材料を不足せぬ樣に取る爲には、一通の食物にのみ偏らぬ樣にし、色々の食物から之を仰ぐ樣にせねばなりません。脂肪や含水炭素は體内で蛋白質になり變る事の出來ぬ物ですから、幾何多く夫れを食物として取つた所で、蛋白質を補ふ役には立ちません。さりながら此の兩者は、蛋白質の身代りとなつて、力や熱を造る働がありますから、之を取ることによつて、體の蛋白質の消費を幾らか節約することが出來ます。就中含水炭素は燃え易いから力の根源となるに適し、脂肪は熱を造ることが、同量の蛋白質や含水炭素に比べて二倍半も多いのですから、寒い時の食物として最も適當して居ます。(以下このつぎの號)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

早起の鐘

故人　文學博士　外山正一氏作

起きよ鳴る鐘入らぬか耳に　鐘を待たずに鳥さへ起きる
鳥は何する唯餌をあさる　人は何する智徳を磨く
早く起れば其日の徳よ　早く起れば一生の徳よ

起きよ鳴る鐘聞いたら直ぐに　日々の習慣正しくすれば
寢るも起きるも心のまゝと　腹にきめたら動くな人よ
早く起れば其日の徳よ　早く起れば一生の徳よ

起きよ鳴る鐘待たずに起きろ　人に引かるゝ牛馬たるな
鐘の響で起きるは耻よ　耻を知らねば人ではないぞ
早く起れば其日の徳よ　早く起れば一生の徳よ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

地方改良あはだら經

群馬縣大地主　岡部榮信氏作

何でも一家が揃つて達者で、機嫌をよくしてかせいでゆくほど幸福愉快が此世にあらうか。けれども病まぬと保險は出來ない、轉ばぬ先から用心いたして、健康保全の貯蓄をいたせよ。藪でもなんでもゲンコぢやたのめぬ。按摩や、はり醫も八百文なり。病氣は神經七分であるから、祈禱で全快するのもあらうが、看病、醫藥が最も大切、迷信なんかにお金を出すより、轉地に湯治に保養がよからう。看護婦たのむも進歩なやりかた。何でも平素の注意が第一。

身持が惡いと命の割引、御酒を過せば命も身上もたまらずへります、己れに克つのが眞なる勝利者、秘訣は一字だ、卽ち忍なり。衛生永世御忘れなさるな。そのつぎ警備は非常の用心、地震とかみなり火災とおやぢは正札つき故注意に注意を加へて恐れてあやまちいたすな、タバコの吹殻位と思つてウッカリ棄てるな、必らず踏み消せ、子供の火遊び、マッチは禁物。ゐろりやかまどや風呂場の下まで、油斷はいたすな、御女中ばかりに、まかせて置かずに、御主人自ら御檢査あるべし、炬燵やアンカも危險であるから、お上の仰せにそむかず火防の設備を致せよ。灰捨場所から炭消しつぼまで目配りあるべし。藥罐の親爺を入れてはならない。電氣や瓦斯ならドウだか知らぬが、滿更危險がないとも云へまい、ランプは一層御注意あるべし。萬一火災が起きたらスグサマ大音聲にて助けを叫べよ、キマリを惡がり、コッソリもみ消し運動やつても其の甲斐なくなり、隣りも近所も眞黑黑助、氣の毒千萬。

火の手が廻つて手がつけられねば、消防諸君に依賴いたして、あわてず騷がず、棚から神樣祖先の御靈を最先持ち出せ。老人小供は助けて連れ出し愛馬を引き出せ、家財に眼をくれ、危險を犯して命を棄つなよ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

赤ん坊を縛へて負ふ害

中村春吉

赤ン坊の身體はなるだけまつすぐにして育てねばならぬ。蝦の樣に前に曲らせたり、首を後に反らせたりしては無論可くない。腋の下に手を入れて差上げることもよさなければならぬ。又腋の下や咽喉を擽つたり腹に口を當てゝ吹いたりして無暗に赤ン坊を笑はせることも可くない。殊に小帶や素扱の類で腋の下から背に締めつけて負ふことは不可ぬ。赤ン坊は苦しまぎれに泣く、子守抔は寢苦るしいだらう位に思つて泣けば泣く程背を搖る。赤ン坊はます／＼苦しさに耐り兼ねて藻搔く中、縛られた小帶や素扱抔の下は何時しか痲痺て了つて、赤ン坊も何時か泣寢入りに寢込んで了うといふことが、日本人の常である。

日本の小供に筋氣の者の多いのは實に腋の下の筋肉を縛つたのから起つて來るのである。其のみでない種々の腦の疾を起すのである。腦膜炎、半身不隨、中風、神經衰弱、全身又は坐骨神經痛、啞、斂睨、狂氣、癲癇、舞踏病、顔面神經痲痺抔皆此に原因するものである。固より支那朝鮮等にも小供を背負ふ風習はあるが然し其の負ひ方が孰れも日本のそれよりも遙かに文明的である。抑も日本に小供を脊負ふ風習の起つたのは昔川に橋の架つてゐぬ時に小供を脊負つて渡つてゐたのが起源であるが、兎に角、小供を脊負ふのは亡國の民を造るものだと極言するを憚らぬ所である。骨を折つて亡國の民を造るなどは矛盾も亦極まつた話ではな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

い乎。

今一つ一言したきは小供の恐怖心を嚇ることを嚴禁せねばならぬ事である。日本人の習癖として、ヤレ『お巡りさんが來る』の、ヤレ『鼠々が來る』のと色んな嘘僞の言語を弄して幼兒を怖がらせる。中には其麽言をいつて小供が怖がるのを見て無性に喜んで無暗矢鱈に恐らかすものもあるが實に無遠慮千萬、危險至極のこと共である。戰亂後の國民は一層元氣を要する。幼少の時代より怯懦の思想を排斥し、人間は『正直』にさへすれば宇宙に恐るべきものなく所謂仁者と共に天下無敵であるてふ考を注ぎ込むのが何より大事であると信じて疑はぬのである。

町の子供は公園で遊びます

之を要するに無病息災の國民を造るには難かしい註文は要せぬ、只だ自然の方則、ツマリ天眞爛漫に流露する小供の自由な運動をなるべく拘束しない樣にして善導する事、言葉を換へて言へば傾く方向へ助木をする如く小供の發達の比較的鈍い方面に向つて適當に自由を補足する事、恁するには父母及び小供の周圍の人々に、ツマリ國民全般に今一層眞面目な育兒的自覺を持つて貰ひたい、是丈で事は足るのである。私は差當り是丈の事を一般の家庭に向つて鼓吹したい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

口繪説明

青年會と處女會の合同の敬老會

――(三重縣三重郡朝日村)――

朝日村の青年會と處女會は、大正七年十月二十一日淨泉坊に村内の八十歳以上の老人二十六人を招待しまして、敬老會を開きました。當日午前八時に處女會員八十名小學校に參りまして、川北敎諭について料理の實習をなし、其の調理した御馳走を老人にふるまひましたのは、よい思ひつきでありました。此日寫眞にありますように、二十六名のお老人が、喜び勇んで、杖に縋つたり、孫に手をひかれたり、乳母車に乘つたりして、二時まではみんな揃ひました。

青年會員が手をとり、背負ひなどして、會場へ案内しましたので、大喜びでありました。山下會長の挨拶の後で、處女會員が膳部を出しお祝酒をすゝめ、蓄音機の餘興もありました。しまひに記念の爲に寫眞をとり、夕がた青年と處女と宅まで老人を送りました。老人を大事にすることは、孝道の頽れようとする今日、まことにうるはしいことであります。

朝日村處女會は、評判のよろしい處女會で、二十一歳までの處女を會員とし、現在百二名の會員があります。最近に次のような仕事をしたさうです。

家庭衛生講習會、作法講習會、料理講習會、軍事講習會、手藝品品評會、出征軍人慰問袋寄贈

□主婦と娘の虎の巻

一 夏になると白米に虫がついて困ります、梅の葉を少し米の中に入れて置くと虫がつきませぬ。

二 鰹節は、罎の中に灰と一所に入れておいてもよろしく、又酒を塗つて風通しのよい所に吊して置けば、夏も虫がつきません。

三 醬油の味の變つたのは、火で一度沸かし、其から火の力をゆるめますと、泡と一所に汚物が上に浮くから之を杓子で掬ひとり、後冷して置けばもとの通りになります。

四 味噌の酸くなりましたのは、生松の皮を剝きとり、味噌桶の中に埋めて置けば直ります

五 海苔を貯へますには、罎の底に麥湯にする炒麥を敷き、其の上に海苔を入れても良いのです。又炭の粉を敷いて置いても宜しい。是は炭や麥は濕氣を吸ふ効能があるからです。然し隙があつては何にもなりませぬから、蓋をよくしなければなりません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女時代の心の持ち方

東京女子醫學專門學校長
中央部理事　吉岡彌生

▼心身の變化多き處女時代

處女時代と申せば、女が初めて月經を見る十四五歲から二十歲前後を申しますが、此の時代は身體の發達が著しいだけ、自然精神上にもごく變化が起り易う御座います。例へば子供の頃非常にわがまゝであつて、何事も思ふが儘に押しとほすといふ性質であつた者も此の時代になつて、急に沈みがちな臆病者に變つたり、又は、至極さつぱりした氣立ての者が、丁度別人かの樣に少しの事にも腹を立てたり愚痴つぽくなつたりします。又子供の頃は、從順な子供だと他人にも褒められ、親達にも可愛がられた者が、掌を返した樣に我儘な疎暴な振舞をする樣になるのも此の頃に多いのであります。然し一般に多いのが前のような變り方です。それ故に此の年頃の方は、自分で心をしつかり持つて、變な氣立と變らないやうに氣をつけねばなりません。

▼病は氣から產出す事もある

一體人は、精神の持ち方で身體に非常な影響を及ぼすものであります。例へば肺病の樣な傳染性の病にかゝつた時、假令その病氣が初期であつて、大して心配する迄に病が進んでゐない場合でも、本人は周圍の人達の素振りに僻んだ心を起し、此頃お友達が見えないのはこんな病氣だからだ、もう私は誰からも相手にさ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

れない、病氣はとてもなほらないなどと餘計な心配をして悲觀する人を往々見受けますが、さういふ人はたとひ充分な手當てをしても、却つて病が重くなる場合があります。之は全く精神の持ちやうが惡いから起る事で、よく世間でいふ「病は氣から」といふのと一緒であります。之れに反して案外心配な病氣も、精神の持ち樣で却つて早くなほる事があります。一體病氣は身體の或部分に惡るい所があるから起るのではありますが、又氣から病氣を產み出す事がありますから注意しなければなりません。

▼恐怖心を去つて樂觀に

萬が一病氣に罹つた時は、先づ第一に養生をしなければなりませんが、それと共に、病氣はぢきになほるものだといふ考へをもたなければなりません。中には只病氣の原因を探つたり、又は先き〳〵の事まで氣に病んで、あゝしたのがわるかつたとか、かうすればよかつたとか、又は若しや肺病になりはしまいかとか、樣々ないらぬ苦勞をして、一人で悶えてゐる人がありますが、こんな事では却つて身體の抵抗力を減らして病をわるくし易いのであります。かういふ方はわりあひに家の事の閑な、身體の樂な人に多く、常に田園生活に追はれて身體に閑のない地方の娘さん方には少う御座いますが、然し處女時代は概して神經が鋭いものですから、それだけ注意していたゞきたいのであります。一體悲觀するといふ事は、健康體の方にも惡い事ですから、充分氣をつけねばなりません。

▼地方の處女は抵抗力が強い

都會の娘さん方の中には、よく私は神經衰弱症に罹つてゐると申す方がありますが、一體此の病氣は其の人の氣持ちから生み出す場合が多いのであります。此の病に罹つてゐると感じた時、其の前を考へて見ますと、家庭上の心配事があつたり、又は仕事をしても夫れがいやでならなかつたり、又は勤めだから義務だからといふ樣な心持ちで幾日も過して來た事を知る事

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

があるものです、凡そ物事を消極的に考へて不平不愉快に其日々々を送りますと、自然氣が滅入つたり、又は苛立つて來て、果ては身體にまで疾患を招く事があるのであります。かうして神經衰弱症等を招いては、全く馬鹿げた話ではありませんか。常に精神を愉快に持ち氣に病むでも、詮ない事はすつかり忘れて、身體を働かしてゐれば、神經衰弱症等には、罹り度くも罹れないのであります。朝は未明に起きて野良へ急ぎ、夕べに星を戴いて家路を辿る地方の娘さん方に此の神經衰弱症の見舞はないのは、全く身體や精神に隙がないからであります。

▼心は常に平靜で愉快であれ

以上述べました樣に、處女時代は最も物に動かされ易い時代で、その精神上の動搖が、遂には取り返しのつかない惡い性質をつくり、果ては身體にまで害を及ぼすものでありますから、本人はもとよりのこと、周圍の人達も、此に留意して、充分心を引立て快活な氣質に導いてやらねばなりません。お友達との交際に於ても、總て物事は善意に解釋する樣につとめ、決して僻んだ心を起さないやうにし、又仕事にとりかゝりましたなら、よし中途で倦きる事があつても勇氣を出してしまひまで仕遂げてしまはねばいけません。

之を煎じつめて申しますと、何事によらず、常に心を靜かに愉快にもつて、勇氣を出して進むといふ樣にありたいのであります。かうした注意をもつて進んだ方が、將來一家を作る時は、和氣家に滿ちて、樂しき家庭に身の幸を喜ぶ事が出來ませう。それに引きかへて、處女時代に心の持ち方を誤つた方が家庭を作る時は、樂しかるべき家庭が常に沈鬱であるか又は荒んで平和を缺き、延いては子孫にまで悲しむべき影響を及ぼすのでありませう。

□處女衛生問答

處女會員にして本誌の讀者は、どなたでも生理衛生についておわかりにならぬことを質問しなさい中央郡理事吉岡先生が親切にお答へして下さいます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

花ものがたり

島鮎川

薔薇の花

昔ベツレヘムといふ街に、容姿やさしい一人の娘がゐました。パッチリと開いた目元の愛嬌には、それは〱何とも言へぬ懐し味がありました。自然お嫁に欲しいとの望み手も多くありましたけれ共、此の乙女の心は清らかで、只管神の教に從つて眞直な道を辿らうと努めてゐるのでした。

處が同じ街に、一人の心根の良くない青年がありまして、その娘をお嫁に欲しいとの一念から、いろ〱と言ひ寄りましたが、美しい娘の心を動かすことが出來ませんでした。娘の信仰してゐる宗教では、教に背いた者は、人非人として火焙りの刑にせられる事となつてゐました。青年は自分の思ひの遂げられない腹癒せに、娘を此の刑にあはせてやらうと企み、あの女は背教者であると吹聽しました。可哀相にも乙女は遂に火焙りの刑にせられる事になりました。けれ共、神の眞意を信じてゐる清い乙女は、愚な若者の惡むべき

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

罪をあばかうともせず、靜かに刑場に立ちました。やがて薪に火がつけられて、玉の肌が眞黑に燒きつくされようとする一刹那、きれいで香のよい紅白の花が亂れ咲いて、瞬く間に乙女の姿を包んで仕舞ひました。この花が今の世に、愛の表章として用ゐられる薔薇の花であると言ひ傳へられてゐます。

百合の花

何時の世とも知れぬ遠い昔、ハルツ山麓にアリスといふ美しい愛くるしい少女が居りました。そのころ其の土地では松や樅の葉で作つたものを『森の藁』と言つて、之を寢床に入れ、藁蒲團を柔かくする風習がありました。母一人子一人の可憐なアリスは、年老いたお母樣をいたはりながら其日々々の細い煙をあげてゐましたが、或日のこと、平素のやうに靜寂な森で此の『森の藁』の若葉を拾ひ集めてゐました。浮き出たやうな清楚な姿、彫むだやうな美しく愛くるしい容貌、それは綠深き森に映えて一際美しう御座いました。

折柄獵歸りの王樣が其の森を通りかゝつて、アリスの美しい姿をみそめこんなに美しい娘に侍づかれたならどんなに幸せだらうと思ひ、言葉巧みにアリスの心を誘ひました。けれ共親孝行なアリスは、年老いた母を殘してまで宮仕へし度くないと述べて強ひて御辭退いたしました。王樣は止むなく其儘城へ歸りましたがそれからといふものは、一層アリスを宮中へお召しになり度くて仕樣がありませんでした。

アリスは、家へ歸つて今日の出來事を殘らずお母樣に申し上げました處、母は其の驚きは一通りでなく、直ぐに隱れ家を求めて兩人とも身を潜める事になりました。然し王樣はとう〱其の隱れ家を搜しアリスを伴れていつてしまひました。母親の嘆きは無論のことですが、アリスは一人ぼつちになつたお母樣の事を思ふと悲しくて涙が止め度もなく流れて來ました。やがて王樣は、庭に引き据ゑられて、顫へてゐるアリスの側に近より、荒くれた腕で彼の女を高く抱き上げて城内へ進まうとしました。と見る間に乙女の姿は煙の如く消えて、その跡から美しく氣高い花が咲き出しまして、何んともいへないよい香氣が流れて、王樣の鼻を強く衝きました。此の花こそ後世まで純潔を示す百合の花だと申します。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

嘉悦先生は中央部の理事で日本女子商業學校の學監をしてゐらつしやいます。「怒るな働け」と申すのが先生の主義で學校の校訓にもなつて居ります。

形式　かたちの上、うはべ
經濟的　ものいりのないやうに
主義　やりかた
從來　いままで

御馳走よりも居心地

理事　嘉悦孝子

何事も形式に流れぬやうに、そして經濟的にやつて行かうといふのが、私の主義ですから、お客様をもてなすといふことにつきましても、亦從來のやうな形式な無駄なやり方は感心いたしません。

　それでは一體どうするのかと申しますと、先づ何よりも心持よくお客に接するといふ事が大切です、さあお客様がゐらした、女中を菓子屋へ走らせる、料理屋へ駈けつけさ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

接する 目のあたり會ふこと、接待、應接室など

失敗 しくじり

> お客様をもてなしきげんよく、お歸しすることも、一つの世渡りの大事なことであります、女は殊にこの心がけが大切と思ひます。

せるといふ風に、あまり大騒をするのは、先方に氣兼をさせる基で、何處そこへゆくと、あんまり大袈裟にして下さるから、度々は行き悪いといふ風になつて、三度の處は二度になり、二度の處は一度でやめるといふことになるものです。これはお客をもてなすについての第一の失敗と申さねばなりません。自分にしてもあんまり大騒ぎされると居心地のよいものではありません。折角ゆつくり話をしやうと思つても、何となくお尻が落ち付かないので、そこ〳〵にして歸るといふことがありますから、私は御馳走よりも何よりも、まづ居心地よくさせるといふことに注意するのが必要だと思ひます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

日用文字展覧會

火鉢 簞笥 夜具 重箱 提燈 洋服 手拭 肥料 栽培 蜜柑 封筒 土

瓶 茶碗 鍋 釜 柱 豆腐 鰹節 庖丁 鋸 土藏 硯箱 煙管 煙草

銀行 會社 鏡 蚊帳 菓子 鷄 神社 佛閣 役場 學校 租税 麥飯

芋 鯛 牡丹餅 汁粉 酒 澤庵 漬物 醬油 味淋 牛乳 煎餅 飴 お

粥 五目飯 小豆 味噌 擂鉢 丼 膳 湯呑 手桶 杓子 十能 梅干

蕎麥 鮨 生糸 石油 電氣 瓦斯 風呂 鐵瓶 障子 屛風 天井 疊

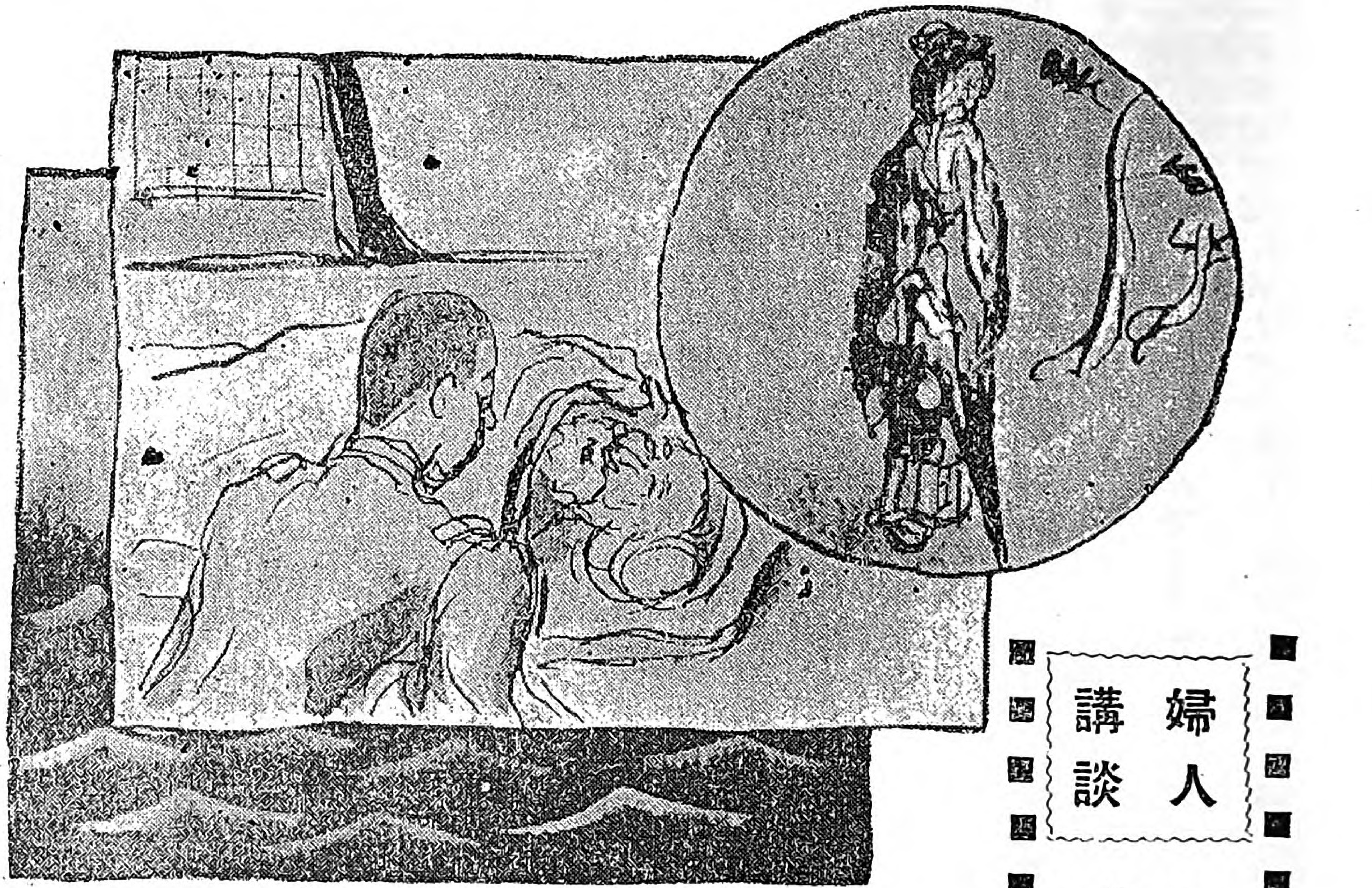
床の間 玄關 箒 本箱 机 座蒲團 枕 筆立 時計 鋏 竈 下駄 簪

櫛 帶 卵 鮭 鱒 手帳 鉛筆 認印 郵便 切手 書留 振替 電報

電信 電話 帽子 袴 羽織 紐 眼鏡 股引 足袋 襟卷 手袋 辨當箱

金盥 笊 雜巾 德利 盃 宴會 合圖 茶話會 開會の辭 閉會の挨拶

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



婦人講談

妻返し松

大久保四州

一

「オイ泣いて居ちや解らん、お父様は何と仰せられた
それとも御様子がお悪るいのか」勝典は、鎌次郎の態度を見て急きたてました。

「ハ、ハイ……」

「御面會下さらぬと仰在るのかい」

靜子夫人も氣遣はしげに言葉を添えました。

「ハ、ハイ、どうも御難かしく仰せられまするんで……
……」

「御面會ならんと仰在るのか？お父様の御病氣見舞に伺つたんぢやないか、貴様申上げやうがわるいのだらう」

「いや、御二方様御到着の旨申上げて、御病室に御案内いたしてよろしう御座りましやうかと、お伺ひいた

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

したので御座りまする」
「それで、お父樣どう仰せだ」
「必要ない追返せと唯だ一言仰在りました」
「ナニ追ひ返せッと？ そりや酷い、お母樣、參りましやう、お父樣もお熱の加減でそんなに仰在つたのでしやう、ナニかまやしません」
「イエ〱、日頃の御氣象から、呼びもしないに何故來たかとのお叱かりであらう、御言葉に反むいてはなりませぬ」
「と言つた處で、折角お見舞に來て此儘歸られましやうか」
「サ、お見舞に來たのだからお氣に障るやうな事して、萬一御病氣を惡くしては、それこそ却つて仇になります、お許しがなくば、仕方がありません」
「折角此處迄來て、そんな弱い事仰在つては仕樣がありません、も一度伺はせて見ましやう」
勝典は殘念でなりません、再度鎌次郎を病室に參らせやうとする處へ、恰度葦原副官が見えました
「ヤーいゝ處へ、副官殿、東京から奥樣と若樣がお見えになりました」
「イヤ、これはよくこそ、定めし今度の電報ではお驚き遊ばされたで御座りましやう、手紙で悉しくとも存じましたが、何分御容態が御容態なので、不取敢電報を差上げたやうな次第で、サアどうぞ御通り下さりませ」
「副官殿、それがいけないんで……」
「何がいけないんだ？」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

「何がおやありません、閣下は御面會遊ばされないと仰在るんです」
「御面會なされんッ？」
「直ぐ追返せと仰在るんです」
「馬鹿、貴様伺ひ違ひしてるんだ、失禮な」
「どういたしまして、閣下は酷く御機嫌がわるいのです、間違と御思召なら、一つ貴官からも一度伺つて見て下さい」
副官は、挨拶もそこ〳〵病室に驅けて行きました。

回

「副官殿如何で御座りました」
「ウム全くお氣の毒な、矢張り御面會相成らぬと仰せだ、併し色々お願ひして、若樣丈けは兎も角つれて來いとの仰せだ」
「種々と御心配かけて有難う御座ります、勝典さへ會はせて頂けば、それ程結構な事はありませぬ」
「誠に何とも申上げやうも御座りませぬが、其中私よりもゆる〳〵お願ひ致しまする、唯今の處では暫時御辛抱を願ひまする、兎あれ、此處では冷えまする、せめて庫裡迄御案内いたしましやう」
「イヤ〳〵、私の心配は御無用です、私は御許しのない上は此で待つて居りまする、どうぞ勝典をお願ひ申しまする」夫人は何と勸めても動かうとはいたしません、詮方なく、葦原副官は勝典を伴なつて將軍の病室へ通りました。

「お父樣御病氣は如何で御座りまする、お母樣も大變御心配で、遙々御見舞に上りました」
「勝典か、誰が俺の見舞に來いと言つた」
「誰れと申す譯でもありませんが、遠く離れて居ては此樣子も判りませんから、お母樣と御相談の上參りま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

した」

「馬鹿、お前達が來たとて俺の病氣が良くなるか、癒る病氣なら來なくともチヤンと癒る、一體お前は學校はどうした」

「缺席を願つて參りました」

「痴呆けた事を致すな、お前は軍人ぢやないか、軍人が其日の勉强や勤務を怠る事は、取りも直さずお國の御奉公を缺く事ぢやないか、私の病氣見舞の爲め、お國の御奉公を粗略にいたして相濟むと思ふか、假令母が何と申さうとも、お前迄が血迷つて身分を辨へぬ不心得をいたすとは何事か」

「何とも惡う御座りました、足らぬ考へから色々と御心配をかけて相濟みません、東京へ歸れば、懸命に勉强いたして此の失策を取返します、お母樣も甚い御心配で居らせられます、どうぞ御面會お許し下さりませ」

「イカン、必要がない、お前は不心得をいたした故、今後の爲め意見を加へる必要があつて是迄呼ばせたのぢやが、母は別に申聞かせる迄もない、許可のないに任地に尋ね參る如な事をしてはいかぬと、お前から傳言すればよい」

「と申して折角…………」

「イカンと申すに、サ、早く歸れ、一日遲れば一日御奉公が缺ける、俺の言ふた事がまだ解からぬか……そして長い汽車旅ぢや、母は寒さの持病がある、よく注意してあげるやういたせ」

斷乎として刎つける將軍の言葉の裏には、言ひ知れぬ溫かさが流れて居ます、感に打れた副官は、覺えずツツと外を向いて淚を拭つて居ました、鎌次郎は座にも堪ず、次室へ退がつて嗚咽て居るのでありました。

回

「お母樣、お寒い處で長くお待たせいたしました」

「お父樣御樣子はどうありました」

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

「大變元氣で居らつしやいます、醫者も此分ならば心配はないと申して居る由で御座りまする」
「オヽそれは何より安心です、お父樣から何かお話がありましたか」
「ハイ、父の病氣見舞位で、大切の軍務を疎かにしたと大變にお叱かりを蒙むりました」
「みんな私が惡るかつた、サア直ぐ歸りましやう」
「お母樣も一應お會ひなされるやうにと、色々お願ひ致しましたが、どうあつてもお許しがありません、私許りお目にかゝつて、お母樣お一人に御本意を缺かせて濟みません」
「イヤお前が親しうお目にかゝつて御樣子を伺へば、私はお目にかゝつたも同然です、せめて半日でも御介抱申上げてと思ひますが、それも叶はねば仕方がありません、此上は、一刻も早うお前の勤務の缺ぬやう、急ぎましやう」
葦原副官は固より、鎌次郎も、寺の住職も、是非一兩日逗留するやうと勸めましたが、靜子夫人は、強ひて人々の厚意を謝つて、進まぬ足を再び多度津へと引返しました。
曇つた空に、又しても風が一陣、ヒラ〳〵と散り飛ぶ松の朽葉に交つて、雨か涙か、ハラ〳〵と霙が降つて來ました。
松原つゞきの海の彼方に、チヽと鳴きつゝ立ち騷ぐ千鳥の群も、母子の胸にはひし〳〵と哀しさ、あわれさを添へるのでありました、寄せては返す、濤い咽びの何時迄も、悲しい音に吹く松風を其儘に、今も此の靜子夫人の立盡くした老松を、名も無惜の『妻返し松』と稱へて、金倉寺に詣づる人々の袂を絞らせて居ます。(おはり)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

笑ひばなし

□木刀賣□

昔剣術がはやると聞て、ぬけめのない商人、屋敷町を木刀や〳〵と賣あるくと、窓から、木刀よ〳〵と呼びました。『いくらだ』『七匁五分づつでございます』『高い、五匁にさつせい』『いえさうはなりませぬ』と引つかたげていつたが、少しいつて立ち戻り、『モシ木刀まけてあげませう』といへば、『イヤまけた木刀はいりませぬ』

□目出度□

今日は大切な元日だから、何事に依らずたとへ怪我をしても、めでたい〳〵と言へと、家内の者に言ひつける。口の下から召使の女鍋をおろすと、棚が落ちさうになる『コレ〳〵八助どの、棚が目出度くなりさうだ、早く來てくんな』といへば、八助飛んで來てしつかりおさへて『おれが來ては、めつたに目出度くさせることじやねえ。』

□下女の脈□

ある所に我が身をめつたに卑下する下女がありました。其の家の奧さん、風を引いたので、常にねんごろにしてゐる醫者を呼んで、脈をみて貰ふ序に下女を呼で『そなたも心もちがすぐれぬとのこと脈をみていただくがよい』と申しますと、下女遠慮して『何んの私風情に脈がありませうぞ。』

□おぎやあ〳〵□

飲むと若くなるといふふしぎな瀧がありました。爺さん其を聞いて一杯やつてみますと、白髪は黒くなり、禿はなほり、腰は立ち、元氣は出る、大喜びで家へ歸るとお婆さんびつくりして、私も少し若くなつて來べえと途を敎つて出かけましたが少しも歸つて來ません。爺さん心配になつて瀧つぼにいつてみますと、婆さん水を飲みすぎておぎやあ〳〵

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

新語古語問答

□瓜田の履と云ふのは何ういふことですか。

(答)「瓜田に履を容れず、李下に冠を整さず」といふ語が支那にあります。齊の威王の姫、虞と云ふ人が王に言つた語であります。人から疑はれても辯解の出來ないやうなことはしない方がよい。たとへば若い男と女とが、みだりに一緒に歩いたりなどすると、何か譯があるやうに人から思はれても仕方がありませんそれはつまらないことですから、愼まればならぬと云ふのです。

□宋襄の仁とは何う云ふことですか。

(答)憫むべき場合に憫むべき人を憫むのは、人間としてまことに必要なことでありますけれどもさうでない場合に無益の憫みをおこして却つてひどい目にあふのを宋襄の仁と云ひます。宋の襄公が楚と戰つた時、さうした無益の憫みをおこして却て楚に敗れた故事から出て居ます

□駙馬といふのは何んな馬ですか。

(答)天子の女の婿のことから、えらい人につき從つて居る人の事を云ひます。行營雜錄と云ふ書物に「皇女、公主に尙するものは必ず、駙馬都尉に拜す、故に之を駙馬と云ふ」とあります。

□鬼千匹とは何ですか。

(答)小姑一人は鬼千匹と云ひます。小姑とは夫の姉や妹で、兎角口やかましく、嫁のアラをさがしては針のやうなことも棒のやうに吹聽する所から、嫁にとつては鬼が千匹居るほどにつらいといふのです。しかし近頃の學校敎育を受けた小姑は、決して嫁をいぢめるやうなことはしない筈です。

□塞翁が馬のわけを敎へて下さい。

(答)昔、支那の北方の塞と云ふ處に一人のお翁さんがありました。馬を飼て居りましたが、ある日不意に馬が遁げていつてしまひました。しかしお翁さんは別段悲しさうな顔もせずに、平氣で居ました。四五日たつと、遁げて去つた馬が、今度は立派な能く走る馬を連れて歸つて來ました。普通の人なら大變喜ぶ場合ですけれども、お翁さんは少しも嬉しさうな顔をしません。ある日お翁さんの可愛いゝ子供が其連れて歸つた馬に乘りおツこつて大怪我をしました。けれどもお翁さんは少しも悲しいとも思ひません。後戰爭が起つて若者が皆いくさにやられ、負けて死にましたが、その息子だけは怪我をしたゝめにいくさに行くことを免れました。これは譬へ話でありますが人間の仕合とか不仕合とかは、丁度こんな風にやつて來るもので、何が仕合になるやら不仕合になるやら分らぬと云ふ意味を、人間萬事塞翁が馬と云ひます。

□駟も舌に及ばずと云ふ意味は

(答)駟と云ふのは四頭の馬、四頭の馬で曳く馬車を駟車と云ひます。一旦口から出した言葉は、あゝ失策つたと思つて直ぐ取り返さうとしても、もうおツつかないで、何とも致方のないものであるから、必ず用心しなければならぬと云ふことを戒められた言葉であります。論語に「子貢曰く、惜しいかな夫れ子の君子を説くこと、駟も舌に及ばず。」云々

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

家內心得百箇條

山本瀧之助

一、枕元にはマッチを置いて寢ること

二、ヤレ火事じやといふ時には先づ何から取り出すべきか不斷に考へ置くこと

三、家の内には水を切らさぬこと

四、金錢は郵便貯金又銀行などに預け手許に置かぬこと

五、餘所に行く時には小錢を用意すること

六、小遣帳を作り一々小遣をつけること

七、賃錢を定めずに車に乘らぬこと

八、宿についたら一番に宿錢を定めること

九、請取書の類は大切に保存すること

一〇、價安くても不用の物は買はぬこと

一一、酒は入用のたび毎に買ふこと

一二、お客に對して無暗に飲食を強ひぬこと

一三、老人のある内にては食物の調理はいつも老人の口に副ふように注意すること

一四、きまらぬ收入を當に先きづかひせぬこと

一五、買物をするには現金にすること

一六、子供へは叨りに金錢を與へぬこと

一七、肌に着ける洗濯物は成るべく家の後に干すこと

一八、洗濯物は久しく水につけて置かぬこと

一九、洗濯物は強く絞らぬこと

二〇、夜具は度々日光にあてること

二一、子供への土産には菓子類を止めて學校用品を與へること

二二、子供の成績物は氣を付けて見てやること

二三、家の内には蠟燭を切らさぬこと

二四、家の内には葉書を切らさぬこと

二五、箒の先きの切れたるは使はぬこと

二六、箒はかけて置くこと

二七、鍋釜の炭は折々かき落すこと

二八、かまどの下の火は氣をつけて火消壺に入れること

二九、桶類には水を殘し置かぬこと

三〇、飯びつは永く水に浸し置かぬこと

三一、履物の緒はあらためて外に出ること

三二、袂の中にはいつも糸切を用意して置くこと

三三、卷紙はついで使ふこと

三四、鋤鍬の土はよく落して置くこと

三五、雨下駄は度々齒を入れ替へて用ふること

三六、漆物は水につけて置かぬこと

三七、雜巾はほして置くこと

三八、傘は日かげに干すこと

三九、長道には右左と度々履物を履きかへること

四〇、草鞋や草履は一寸水に浸して用ふること

四一、紙幣は大切に扱ふこと

四二、廢物の利用を考へること

四三、器具は價高くとも丈夫なるを求むること

四四、筆又はペンは使ふて後は拭ひ置くこと

四五、物干竿は日のあたらぬ所へしまひ置くこと

四六、薪は日に當て又は雨風にさらさぬこと

四七、夜ふかしをやめて朝起きをすること

四八、ひまある時には草履や草鞋を造り置くこと

四九、仕事は一時に一事づゝ片付けること

五〇、肥壺には日の當たらぬように蓋をして置くこと

五一、雨傘には早く印を入れて置くこと

五二、病人をば早く見舞ふこと

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

五三、出さればならぬ手紙は早く出すこと
五四、借物は成るべく早く返すこと
五五、借物を返すには成るべく他人を頼まぬこと
五六、老人の前では死んだ人の話をせぬこと
五七、老人の自慢話は快く聞くこと
五八、腹の立つたる時は成るべく口數を言ぬこと
五九、他人の言葉を一口に打消さぬこと
六〇、後程でもよいと言はれたる事も成るべく其時に濟まし置くこと
六一、車に乘りたる時は坂にては下りること
六二、頼まれたる事柄をまだ其のまゝにしては居らぬかを時々顧みること
六三、土瓶や急須の茶はつぎきつて置くこと
六四、ぬれ手で鹽をつまみ出さぬこと
六五、味噌の中をほつて出さぬこと
六六、酢醬油の入物は口をかたくしめ置くこと
六七、食後には口をそゝぐこと
六八、食事のたびに手を洗ふこと
六九、他人の内にては成るべく飲食せぬこと
七〇、樋にはごみをためぬようにすること
七一、戸障子の溝に戸すべりを忘れぬこと

七二、かまどの灰は度々取り出すこと
七三、火を焚くに一度に薪を多く燃やさぬこと
七四、煙突の掃除を怠らぬこと
七五、火を點したるまゝにてランプへ油を注がぬこと
七六、障子の破れは早く繕ふこと
七七、家のまはりには草を生やさぬこと
七八、神棚や佛壇のお花は枯れぬ内に立て替へること
七九、時計の止まりたるをそのまゝにして置かぬこと
八〇、人の歸りたる後にて笑聲を出さぬこと
八一、人の歸りたる後にて直に戸を締めぬこと
八二、餘所から贈られたる進物は端近に置かずに早く取り上げて置くこと
八三、お湯に入つては外で垢を落すこと
八四、むだ話に人の邪魔をせぬこと
八五、他家に行たる時は大概の話は上にあがらずに上り端にて濟ますこと
八六、家の庭には決して唾を吐かぬこと
八七、月初めには氏神へ參ること
八八、不用の物はそれ〲始末をつけること

八九、履物を定めの場所へ揃へ置くこと
九〇、老いたる乞食と不具の乞食には憐れみをかくること
九一、犬猫を叱るにも惡たらしく叱らぬこと
九二、手水鉢の水は度々取り替へること
九三、家の内で使ふ手拭は別々にして置くこと
九四、屋敷内の空地には果樹を植ゑること
九五、道具は總べて元の場所へ納め置くこと
九六、租税は早く納めること
九七、定めの時間に後れぬこと
九八、身分より心をひくゝ持つこと
九九、自分の出來ることに人を使はぬこと
一〇〇、思ふても益なき事は早くあきらめをつけること

〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰

事足れば足るにまかせて事足らず
　足らで事足る身こそ安けれ
はじめより嫁をいたはる姑は
　我身もよくて家も榮えん
我まゝで伊達風流の女こそ
　つひに夫の秋風ぞ吹く
僞りのなき世なりせばいかばかり
　人の言の葉うれしからまし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女新聞社發行

論説

少女は花の如くなるべし、色麗しく匂ひやかなるこそよけれ、譬へば打ち向ふ人の覺えずかたほ笑みて心の憂さも忘るゝようにあるべし節くれたげたる深山木の見るからに疎ましく、凄ましげなるようにはあるべからず。

人に對しては、にこやかに愛らしく、よろづつつましげに恥かしげなるがよし、されど事も無きに猥りにうち笑ひややもすれば身ぶり手眞似に形をくづすなどいとあさまし。君子は其の獨を愼むとこそいへ、况して年少の女子は獨り居る程だに、いささかゝ傍若なる身持あるべからずいかにも物しとやかにして、騒がしく輕々しからぬやうにあるべきなり

（下田歌子）

昨日今日

まだお寒くありますが、流石に立春になりましたので、あたりの氣分が何んとなく春めいて來ました。花盛りもよいものですが是から春が來るといふ頃の氣分は格別です。皆様は時候にたとへますと、丁度是から春を迎へるといふとき、是から先きの、のぞみとよろこびとがあふれてゐます。

のぞみのあるといふこと此が一番尊いとであります。清らかな、正しい、まじめな立派な娘さんとなつて下さい。

梅の花

梅の花が盛りです。私は梅が大好です。櫻はどちらかと言へば町の花ですが、梅は田舍向きの花、その中でも、あの藁家の軒端に咲き匂つてゐるのはよいもの、縁側にはお婆さんが背を圓るくしてお孫さんの守してゐる。其處へ鷄がクークーと鳴いて來る。鶯がホー、ホーホケキヨとお婆さんをなぐさめに來ます。

畏くも、

明治天皇は

此頃は垣根の柳軒の梅
みな鶯の宿となりぬる。
立ちよりて折らむと思ふ庭の面の
梅の木ずゑに鶯のなく

と御詠遊ばれました。

男と女の割合

どこの國でも女は男に比べて少し多いのです。女百人について男が何人かと申しますと。

英吉利	九十三人餘
佛蘭西	九十七人餘
獨逸	九十七人餘
伊太利	九十六人餘
白耳義	九十八人餘
露西亞	九十五人餘

所が日本は、女百人について男が一〇二人に當つてゐます。是にはいろいろの原因もありますが、日本の女の身體の弱く死ぬものゝ多いことにも因ります。益々處女會の必要を感じます。

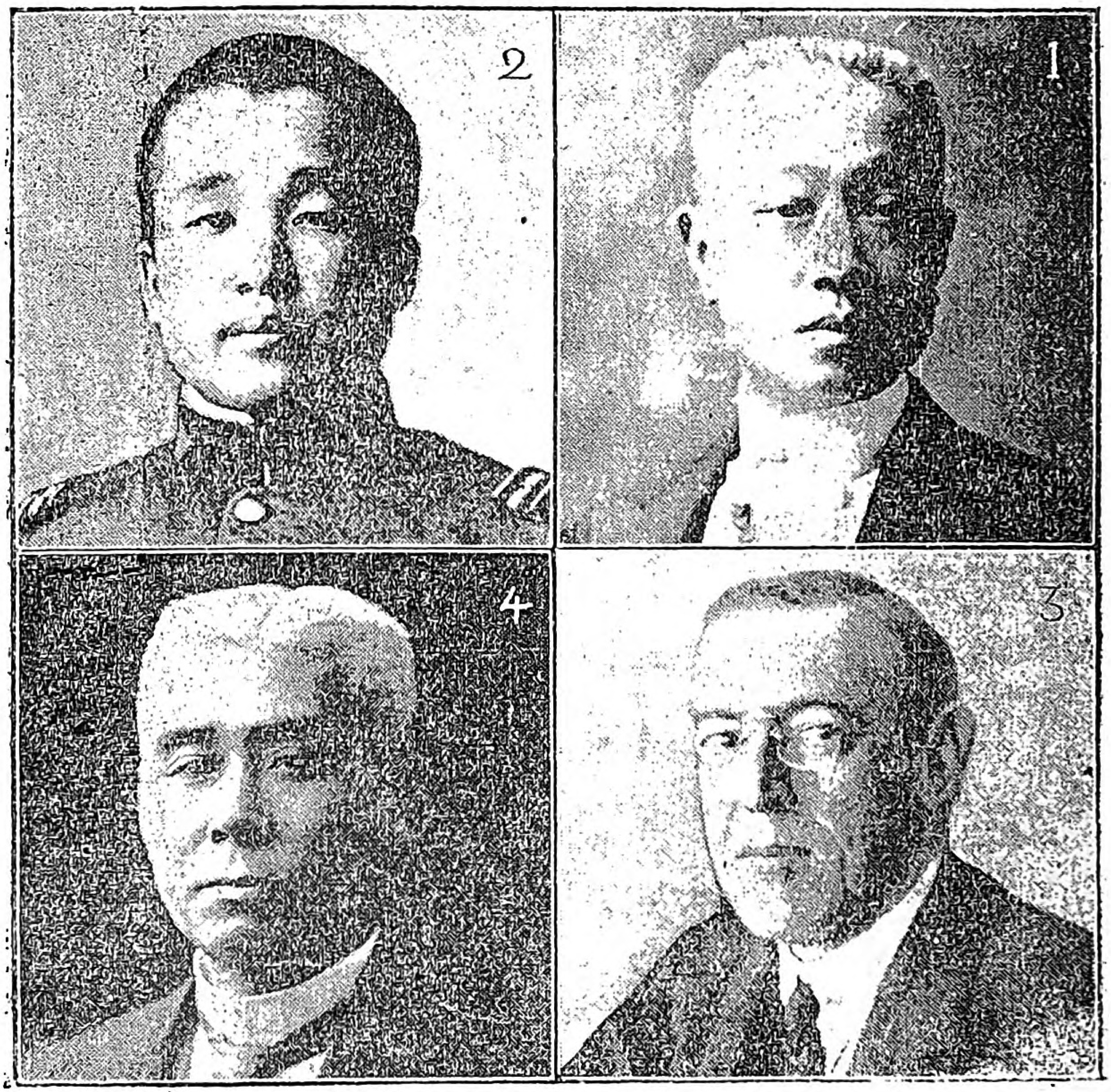
通信

其後御變りなく候や、昨今當地に參り候。當郡にては、過日町村長及小學校長會を開き、來る地久節迄に全郡擧つて處女會設置の事に相成申候。昨日當町女學校へ參り處女會のことも話し候。「處女の友」原稿旅行中に認めたく原稿紙携帶致し居候

（山口縣熊毛郡にて、山本瀨之助）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

懸賞あてもの



この寫眞にある四人の方は、みな立派な方で新聞や雜誌に出てゐますから皆樣は御存知のことゝ思ひますどなたどなたですかあてゝごらんなさい。おわかりになつたらはがきなり半紙なりにかいて中央部へ送つて下さいあてた方には抽籤で御褒美をあげます。

懸賞あてもの答

（一）……………

（二）……………

（三）……………

（四）……………

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女文壇

私共は仕合

大分縣西國東郡三酒村　榎本うめ

外に出ては鍬鎌を取つて父母を助け、内にありては温良なる處女として働き、折々開く處女會に出席して身の修養に勉めつゝある私共は實に仕合なり。何を以て都會を羨むべき、都會は繁華なれども、田舍の如き天然の美を見ること能はず、又都會は交通便利なれども身體弱し。私共は適度に運動するが故に強健なり、巨萬の富を有するとも、身體弱ければいかで良妻となるべき。

（評）よいお心掛でございます

寒の入

愛知縣知多郡横須賀學校　坂　秀

寒の入ももうおとつひの事であつた。それにしては妙に今年は暖である。家の近所では寒の入には昔からホーロクを買はんものだと言ひなさいて居る。だからその前日になるとホーロクを買つて行く人をよく見る。又この日に寒粉を食べると子供が方方へ落ちないと云ふことが云はれて居るものだから寒の入近くになるとどこの家からも毎晩石臼の音がもれて居る。

（評）よく出來てゐます

父を思ふ

愛知縣知多郡横須賀校　新美美子

父と子と別々にお正月を迎ろ其のさびしさよ。今宵は電燈さへ其の光も弱々しさうに見える。去年はこの電燈の下でお父さんと一所に歌留多取りをして除夜の鐘の音を聞いて驚いて床についた事などが思ひ出される。私はよく負けてお菓子やみかんを多く貰ふことが出來なかつた。其の度にお父さんがソッと後から握らせて下さつた。するとと兄さんたちが羨しがつて不平を言つたり怒つたりなどもしなさつた。お父さんは今頃何をしてゐらつしやるのだらう。あの常磐木の立ちこめた中に白くぬられた西洋館の司令部のテーブルに向つてまだ事務でもとつてゐらつしやるのぢやないだらうか。それとも此頃のお手紙には、近頃は少しづゝ餘暇を見出すやうになつたとおつしやつてあつたから、それに大晦日でもあれば、もう寢室の方へお歸りになつたかしら。私がこんなことを考へて居ろうちにもういつの間にやら涙が幾滴かは机の上をうろほしてゐた。

（評）司令部にゐます父君を思ふいぢらしいあなたの御心よ。

以上の外よく出來てゐらつしやる方

蕗の臺（水野きく）　朝の小雀（寺内敏）
入口から（加藤かつ）　三羽の鷄（竹内節）
蠶仕事（寺本郎子）　師の君へ（山口みれ）
和歌（豐田正）

夕食の支度終りて父上の
　かへり待つ間に明日の米とぎ　（愛知　坂はつえ）

人の世は水の流れによく似たり
　たゆますゆかは末は大海　（群馬　栗山てふ）

早咲の山茶花散りて庭さむし　（群馬　關口かく）

より合ってつきぬ話や蠶仕事　（島根　寺本郎子）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

懸賞處女文藝募集

第一種

處女文藝（題隨意二百字以內）

和歌（題隨意一人三句）

俳句（題隨意一人三句）

習字（半紙一枚十字以內）

笑話（題隨意一人一話）

第二種

□各地處女會の寫眞及消息

□田園生活の感想

□田舍より見たる都會

□東京見物の感じ

□有利なる副業內職

□地方篤志婦人の事績

第三種

處女俱樂部（はがき一人一通）

衛生問答（一人一題）

處女問答（一人一題）

□處女會へ（通信）

私は肩書の任務を汚がし人生五十天命を知るの境に入つたものであります、靑年團、處女會の愛導は自然の使命でもあろかのやうに思はれてなりません、今や靑年團の結束活動は目醒しい成績を示してゐるようですが、處女團の發展は比較的後れてゐるやうに見えます、然し戰後の婦人は男子に劣らぬ修養及活動をして地方の爲めお國のために盡されればならぬ事と思ふのでありますヽ歐洲の大動亂は女の能力體力共に男子に劣らざるを立證した、併しながらこゝに大切な事は日本女子てふ立場を自覺して修養を積み世界の進運に順應してゆく事です、私はこの意味より一時間も早く中央に本部の組織が成り機關雜誌の發行せられることを鶴首して待つてゐました。機到れり處女の友の發刊！　私は手の舞ひ足の踴ろの喜びを心の底から感じまして。直ちに幹部を召集して其喜びを分ちました。これからは一層皆さんと御交際を願ひこの事業に微力を捧げたいと存んじます。かくしたならば將來全國幾萬團體の修養、活動、その至誠、必ずや特色を發輝することゝ信じます。

宮城縣本吉郡名足婦人會長鹿野五十次郞

□前號考へ物の答

二號の判じ繪の答は左の通りです

（一）九尺即ち孔雀（くじやく）です

（二）八十八になつて米です

正しくあてた方が多數ありました、其中記者がくじ引して左の方々へ賞品を上げず、今月のはあてものです、あてて下さい。

岡本よしの（島根縣簸川郡大津町）△八木ツシ（群馬縣木瀨村）△明石たづ（群馬縣木瀨村）△後藤タキヱ（大分縣西國東郡田染村）△服部あさの（岐阜縣武儀郡坂東村）△中井しげの（兵庫縣多紀郡草山村）△山口ふじ（群馬縣勢田郡木瀨村）△吉川町子（埼玉縣兒玉郡秋平村）△田井秋子（岡山縣上房郡鹽野村）△女屋ゑつ（群馬勢多郡木瀨村）△渡邊トイ子（新潟縣刈羽村）△金子ツネ（埼玉縣大里郡藤澤村）△湯淺けい（千葉縣印旛郡八生村）△山口康子（島根縣那賀郡都川村）△小柳かめ（佐賀縣佐賀郡川上村）

正しくあてた方は全部で五百九十名

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○編輯便り

□なつかしい皆樣立春に入りましたが、その寒さ、しば〳〵雪がふつて、東京の寒さは一しほで厶います。之に加へてはやり風邪、隨分と死亡者も多いのです。地方にもはやつてゐることでせうが、皆樣は御丈夫ですか、御案じくらしてゐます。私は幸と今度の風邪ば引きませぬでしたが、社の中には大分かゝつたものが多く、自然と雜誌も後れてしまひました。皆樣に何とも申がないのです。どうぞおゆるし下さいませ。

□本誌は幸と皆樣方に愛せられまして、毎日十數名づゝのお友達が出來て來ました。たいへん心强いことであります。いつか雜誌の上で名乘りをあげ談話會を開いてみようではありませんか。私もその中には地方々々の支部をおたづねして、親しく皆樣にお會ひしお話をしたく思ひます。皆樣も時々東京見物をなさい。御案内を致します。

□高知縣の間崎春子樣のお話しを今月號に入れるつもりでしたが、ページの都合で入れませんでした。來月號にはおもしろい記事を澤山のせます。「處女の友」がまじめで爲になるといふことで、皆樣の兩親や學校の先生方もたいへん愛して下さいます。全國もうたいてい行渡つて居ります。早く一萬二萬の大家族になりたいのです。

□皆樣の御兄さまと弟さまは、靑年會員でせう。「處女の友」はお兄弟にもみせて下さい。此ごろ靑年會と處女會と一所になつて會を開いてゐます。たいへんよいことと思ひます。靑年會は處女會を愛し、處女會は靑年會を愛する、これでなくてはなりませぬ。

□習字や作文などもつと澤山送つて下さい。衞生問答も送つて下さい。其ほか皆樣の思つたこと、おのぞみ、わからぬこと、何でも遠慮なくかいてよこして下さい。「處女くらぶ」もまだ少いのです。もつと〳〵大勢遊びに來て下さい。皆樣がお忙しいなら弟君に代書させてよこしてもよいのです。

□終りにのぞみ謹んで申上ます。勿體なくも「處女の友」は毎號　皇后陛下が御覽下さることになりました。何んといふもつたいなくありがたいことでせう。日本に澤山女の雜誌がありますが　皇后陛下の御覽下さるものは澤山なからうと信じます。皆樣のなすつてゐらつしやるお仕事や處女會の樣子や、又私達中央部のありさまなど　陛下に知つていたゞけること、まことに〳〵もつたいなく、涙が出るので厶います。どうぞ皆樣は、お友達にもこのことを御話し下すつて、皇室の御徳を中心とした淸い美しい大家族をつくらうではありませぬか。（豆まきの晩に）

處女の友定價表

毎月一回一日發行

定價	一部	三ヶ月分	半年分	一年分
定價	拾參錢	參拾九錢	七拾六錢	壹圓五拾錢
郵稅	壹錢	不要	不要	不要
合計	拾四錢	參拾九錢	七拾六錢	壹圓五拾錢

廣告料	一頁	半頁
特別面	貳拾五圓	
普通面	拾五圓	九圓

注意

◎御註文は總て前金の事、前金盡きたる節は封紙に「前金切」と捺印して通知に代ふ◎御送金は振替貯金が最も便利なり◎郵劵代用は一割增のこと◎外國行は郵稅實費を申受く

大正八年二月二十日印刷納本
大正八年三月一日發行

東京市牛込區津久戸町二十四番地
發行兼印刷人　福島四郎
編輯人　天野藤男
東京市京橋區弓町十三番地
印刷所　千代田印刷株式會社

發行所　處女會中央部
東京市牛込區津久戸町二十四番地
電話番町一三〇六番
振替東京六一九〇番

大賣捌　東京堂、東海堂、北隆館、良明堂、至誠堂、上田屋、其他全國の主なる雜誌店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

をり〳〵に學ぶいとまはあるものをいとまなしとてふみよまぬかな

□新らしい誌友のお名前□

處女の友は生れて二つにしかなりませぬが大へん皆様から愛されましてもう日本國中本誌のゆき渡つて居りませぬ地方はありませぬ、然し是からいろ〳〵皆様の爲に事業をしますには、もつと〳〵澤山の處女の方に知つていたゞかねばなりません。どうぞ〳〵大勢お友達を誘ひ合つて皆様の中央部をもつて大きな立派なものにして下さい

東京市牛込津久戸町二十四番地
處女會中央部
振替東京六一九〇番

處女の友の新らしい誌友を左の如く御紹介致し候

（御住所）　府縣　郡　村　大字

（御名前）

住所	姓名

備考

代金は振替でも集金郵便でもかまひませぬ振替用紙は郵便局にあります一人でも二人でもお友達を御すゝめ下さい

處女會の會訓

強く優しくまじめに働け

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

□全國處女會の光榮□

皆様よ處女之友は大森皇后宮大夫の手を經て

處女の友 連絡の栞 三月號

（御住所）　府縣　郡　村　大字

（　）處女會員

（お名前）

（お年）

處女の友は皆様の雜誌であります。皆様の爲に中央部でこしらへてゐる雜誌でありますから是から十分に中央部と連絡をとり下さることを望みます。本誌に就て御感じになつたこと、御希望其他何なりとも此におかき入れ下さつて、御序もありましたらばお送り下さい。

本月號について

皇后陛下に獻納し御覽の光榮に浴してゐます

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

創刊以來二十年！

「處女の友」と姉妹關係の週刊新聞

婦女新聞

定價　五週(五部)送料共三十錢△十週(十部)五十八錢△二十週(二十部)一圓十五錢△三十週(三十部)一圓七十錢△五十週(五十部)二圓八十錢(總て送料共)

『處女の友』は處女會々員の修養を目的として發行せらるゝ少女雜誌なり。されば、あまり意味の深遠なるもの、又は社會に對する警醒的文章、或は處女團體の施設に關する評論彙報等は『處女の友』に掲載せられず。而してそれ等を掲載して處女會の指導に任ずる人の參考に資するは婦女新聞なり。婦女新聞は明治三十三年創刊の週刊新聞にして、爾來十九年、毎號皇后陛下(東宮妃の御時代より)の台覽を忝うし、全婦人界の公益機關として一貫の主義の下に努力し、特に地方婦人の向上發展の爲めに盡せり。希はくは全國各町村處女會の幹部の人々が、本紙を必讀せられんことを。處女會中央部の消息を最も精確に報道するは本紙なり。本年十月以後の婦女新聞には、全國各地の處女會及び婦人團體の事績を連載せり。

東京市牛込區
津久戸町二四　婦女新聞社　電話番町一三〇六番
振替東京二八〇七番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

斯民

一部 貳拾錢
一年 貳圓四拾錢

二月號

■自治の精神……小橋内務次官
■社會教育者の權威……江部督學官
■休戰と倫敦市民の狂喜……無名氏
■現代に應ずべき地方改良方法……（全國町村長數十氏の實驗談）
■地方事務改善……長谷川監察官
■天幕形の自治……石田傳吉
■自治法令の研究……平井良成／近藤行太郎
■報德千話……井口丑二
■初めて試みた日用品市場……東國内務部長
■殉公的精神を發揮せよ……馬渡内務部長
■小學校長は斯くあるべし……村田卯一郎
■細民部落改善參考資料……内務省當局者
■馬鈴薯を米の如く食べる法……内務省地方局

地方自治の精神

内務監察官　守屋榮夫著（最新刊）

■四六判函入美本　■價壹圓廿錢送料六錢

國家の基礎は地方に在り、されば地方の開發如何は國家興亡の依つて岐るゝ所也。著者は多年地方官としての經驗を有すると共に今や本省に入つて地方監察の任に當り、地方自治の現状に就て知る所最も深きものあり、繁劇なる公務の餘暇を以て慨然筆を呵して本書を成せり。されば地方自治を談ぜんとする者は必らず本書を一讀せざるべからず。

婦人の覺醒

愛知縣立農林學校長　山崎延吉先生著

四六版　定價拾五錢　送料貳錢

附錄　女房の善惡鏡

內容一班

■女の一心■公私二諦（公方面。私方面）■婦人の三役（家政。育兒。趣味）■婦人の四德。（婦容。婦言。婦德。婦巧）■婦人の五惡（附宗敎の必要）■女の六大事。自覺。修業（學）。就職。結婚。母務。姑勤）■婦女に對する七大要求。（研究。常識の涵養。能率の增進。體育。趣味の養成。社交。經濟的なる事。）

發行所　東京市麴町區永田町一丁目　中央報德會　振替東京九七〇〇番

大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正七年……二……
東京市牛込區津久戸町二十四番地

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN